

県立白兔養護学校管理教室棟ほかトイレ改修工事（設備）（第一期）

図面リスト

図面NO.	図面名称	SCALE
M-00	タイトル、図面リスト	-
M-01	機械設備工事特記仕様書(1)	-
M-02	機械設備工事特記仕様書(2)	-
M-03	付近見取図、配置図、工事概要	1/500
M-04	管理教室棟・小学部棟 1階、2階 平面図	1/300
M-05	管理教室棟 1階トイレ 配管図、天井配管・ダクト図（改修後）	1/50
M-06	管理教室棟 2階トイレ 配管図、ダクト図（改修後）	1/50
M-07	小学部棟 1階トイレ 配管図、天井配管・ダクト図（改修後）	1/50
M-08	管理教室棟 1階トイレ 配管図、ダクト図（改修前）	1/50
M-09	管理教室棟 2階トイレ 配管図、ダクト図（改修前）	1/50, 1/30
M-10	小学部棟 1階トイレ 配管図、天井配管・ダクト図（改修前）	1/50
E-01	電気設備工事特記仕様書（1）	-
E-02	電気設備工事特記仕様書（2）	-
E-03	分電盤単線結線図・姿図	-
E-04	電灯幹線・コンセント設備 1階配線図	S=1/150
E-05	電灯幹線・コンセント設備 2階配線図	S=1/150
E-06	電灯設備 管理教室棟 1階トイレ 配線図	1/50
E-07	電灯設備 管理教室棟 2階トイレ 配線図	1/50
E-08	電灯設備 小学部棟 1階トイレ 配線図	1/50
E-09	コンセント設備 管理教室棟 1階トイレ 配線図	1/50
E-10	コンセント設備 管理教室棟 2階トイレ 配線図	1/50
E-11	コンセント設備 小学部棟 1階トイレ 配線図	1/50
E-12	拡声・誘導支援・火災報知設備 管理教室棟 1階トイレ 配線図	1/50
E-13	拡声・誘導支援・火災報知設備 管理教室棟 2階トイレ 配線図	1/50
E-14	拡声・誘導支援・火災報知設備 小学部棟 1階トイレ 配線図	1/50



有限会社 福田設備設計 〒689-1115 鳥取市紙子谷10番地4 TEL:0857-51-8240 FAX:0857-53-4669	管理建築士 一級建築士 第376077号 福田洋之	CHECK	DRAW	県立白兔養護学校管理教室棟ほかトイレ改修工事（設備）（第一期）	SCALE	No
	担当者 設備設計一級建築士 第5962号 福田洋之	福田	福田	タイトル、図面リスト	-	M-00

機械設備工事特記仕様書

I. 工事概要

1 工事場所 鳥取市伏野

2 建物概要

番号	建物名称	構造	階数	建築基準法による延べ面積(m ²)	消防法施行令別表第一の区分	備考
1	県立白兎養護学校 管理教室棟	RC	2階		() 項	
2	県立白兎養護学校 小学部棟	RC	2階		() 項	
3					() 項	
4					() 項	
5					() 項	

3 工事種目 (●印の付いたものが対象工事種目)

工事種目	番号	1	2	3	4	5	屋外	備考
●空気調和設備								
●冷暖房設備								
●換気設備								
●排煙設備								
●自動制御設備								
○衛生器具設備		○	○					
○給水設備		○	○					
○排水設備		○	○					
●給湯設備								
●ガス設備								
●浄化槽設備								
●消火設備								
●さく井設備								
○電気設備工事		○	○					
●建築工事								

4 設備概要 (本工事における工事種目ごとの概要を示すもので、仕様を規定するものではない。)

●印の付いたものを適用する。

項目	設備概要	
空気調和・冷暖房設備	●空気調和設備 ●単一ダクト方式 ●各階ユニット方式 ●ダクト併用ファンコイルユニット方式	
	●冷暖房設備 ●ファンコイルユニット方式 ●パッケージ方式	
	●暖房設備 ●温水暖房 ●蒸気暖房 ●温風暖房(●局所式 ●中央式) ●床暖房	
	●熱源 ●電気 ●灯油 ●A重油 ●ガス ●バイオマス	
主要熱源機器	●鋼製ボイラー ●鋳鉄製ボイラー ●真空式温水発生機 ●無圧式温水発生器 ●チリングユニット ●スクリーン冷凍機 ●適心冷凍機 ●吸収式冷凍機 ●直置き吸収式冷水機 ●小形吸収式冷水機ユニット ●バイオマスボイラー ●ルームエアコン	
	●ヒートポンプパッケージエアコン(マルチタイプ ●有 ●無) ●温風暖房機 ●FF暖房機 ●その他()	
換気設備	●第一種 ●第二種 ●第三種	
排煙設備	●機械排煙(適用法規 ●建基法 ●消防法)	
自動制御設備	●電気式 ●電子式 ●デジタル式	
衛生設備	○給水設備 給水方式 ●水道直結方式 ●高置水槽方式 ●ポンプ直送方式 ●増圧給水方式 水源 ○水道水 ●井水	
	○排水設備	排水方式 ●自然流下 ●ポンプ排水(●汚水 ●雑排水 ●雨水)
		放流先 汚水 ○公共下水道 ●浄化槽 雑排水 ○公共下水道 ●浄化槽 雨水 ●公共下水道 ●側溝 ●河川
	浄化槽 処理方式 ●小規模合併 ●合併 処理水放流先 ●排水路 ●側溝 ●河川	
●給湯設備	●局所式(●ガス ●油 ●電気) ●中央式(●油 ●ガス ●電気)	
●消火設備	●屋内消火栓 ●屋外消火栓 ●連結送水管 ●連結散水 ●スプリンクラー ●泡消火 ●粉末消火装置	
	●不活性ガス消火(●窒素 ●窒素系) ●ハロゲン化物消火	
●ガス設備	●都市ガス(46.05 MJ/Nm ³) ●液化石油ガス	

II. 特記仕様

1 一般事項

- 現場説明書、質問回答書、特記仕様書及び図面に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の標準仕様書等のうち、
 - 印の付いたものによる。
 - 公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編)(令和4年版)(以下「標準仕様書」という。)
 - 公共建築改修工事標準仕様書(機械設備工事編)(令和4年版)(以下「改修標準仕様書」という。)
 - 公共建築設備工事標準図(機械設備工事編)(令和4年版)(以下「標準図」という。)
- 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「機械設備工事監理指針(令和4年版)」(以下「監理指針」という。)を適用する。
- 電気設備工事及び建築工事を本工事を含む場合、電気設備工事及び建築工事はそれぞれの標準仕様書等及び監理指針を適用する。

2 特記事項

- 項目は番号に○印の付いたものを適用する。
- 特記事項のうち選択する事項は●印の付いたものを適用する。
 - 印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。
 - 印と●印の付いた場合は両方を適用する。
- 一般共通事項のうち(1、2、3、11、12、14、15、16、17、18、36)項は、●建築 ●電気設備 工事特記仕様書による。

一般共通事項

項目	特記事項															
○官公署その他への手続	工事の施工に伴い必要な官公署その他への手続は、検査並びにその費用は、請負者の負担とする。															
2 電気保安技術者	工事現場における電気保安技術者は、鳥取県総務部営繕工事自家用電気工作物保安規程第5条に定める工事担当技術者の職務を補佐し、当該工事の工事期間中自家用電気工作物の保安の業務を行うものとする。なお、電気保安技術者の資格は標準仕様書第1編第1章第3節1. 3. 2によるものとし、一般用電気工作物にかかる工事についても、自家用電気工作物の場合と同様の業務を行うものとする。															
3 工事安全計画書等	建設工事公衆災害防止対策要綱及び建築工事安全施工技術指針を参考に工事安全計画書を作成し監督職員に提出する。															
○発生材の分析及び処理	引渡しを要するもの ※無し ●有り() 引渡しを要するもの以外は、構外搬出適切処理とする。 特別管理産業廃棄物 ※無し ●有り ●本工事において調査を行う(●廃石綿(配管用保温材) ●PCB使用機器 ●煙道すず() アスベスト含有設備資機材(ガスケット、パッキン、たわみ継手等の石綿含有廃棄物)は関係法令に従い適切に処理を行う。 PCB使用機器は関係法令等に従い適切に処理する。 撤去予定機器の微量PCB分析 ※無し ●有り 再生資源化を図るもの ※無し ●有り(○コンクリート塊 ●アスファルトコンクリート塊 ●)															
○機材等	本工事に使用する設備機材等は、設計図書に規定するもの又はこれらと同等以上の品質及び性能を有するものとする。ただし、これらと同等以上のものとする場合は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料をあらかじめ監督職員に提出して承諾を受ける。なお、(一社)公共建築協会発行の「建築材料・設備機材等品質性能評価事業 設備機材等評価名簿」による場合は評価書の写しを監督職員に提出するものとする。															
○機材の品質・性能証明	JIS等のマーク及び評価書のある機材を使用する場合は、標準仕様書第1編第1章第4節1. 4. 2(3)の品質及び性能を有することの性能を有することの証明となる資料の提出を省略できる。ただし、標準仕様書に規定される製作図、試験成績等は除く。															
○機材の承諾図	機械設備工事機材承諾図様式集(令和4年版)によるほか、監督職員の指示による。															
○図形等の表示	機器類は、図示する形状、配管などの取出し位置及び製造品番により、特定製造者の製品を指示、限定しない。															
○電気容量及び機器表示	機器類の能力、容量等は、原則として表示された値以上とする。															
○技能士の適用	電動機出力、燃料消費量等は、原則として図面に記載されている値以下とする。 下記により適用する技能士は、適用する工事作業中、1名以上の者が自ら作業をするとともに他の技能者に対して施工品質の向上を図るための作業指導を行う。また、そのものが技能士であることが分かる名札(下図参考)を常時着用する。 ●配管(○1級 ●2級) ●熱絶縁施工(●1級 ●2級) ●冷凍空調和機器施工(●1級 ●2級) ●建築板金(●1級 ●2級)															
○施工図等	《技能士名札参考図》 技能士の職種により色を変えることも可 技能士の種別 技能士の級の別 技能士本人の住所地 名札の発行元 主要事項(職種、作業名、級別、氏名、住所、技能士番号、発行元、本人写真)が記載してあればレイアウトは問わない。															
○完成写真等	提出した施工図等の著作権に係わる当該建物に限る使用権は発注者に移譲するものとする。 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「工事写真撮影ガイドブック機械設備工事編 平成30年版)によるほか、監督職員の指示による。下記のものも提出する。															
	<table border="1"><thead><tr><th>区分</th><th>分類・規格</th><th>撮影箇所</th><th>部数</th><th>電子データの提出</th></tr></thead><tbody><tr><td>工事写真</td><td>カラーサービス判</td><td>各工種工程毎</td><td>※1部 ●部</td><td>○要 ●不要</td></tr><tr><td>完成写真</td><td>カラーサービス判</td><td>監督職員の指示による</td><td>※2部 ●部</td><td>○要 ●不要</td></tr></tbody></table>	区分	分類・規格	撮影箇所	部数	電子データの提出	工事写真	カラーサービス判	各工種工程毎	※1部 ●部	○要 ●不要	完成写真	カラーサービス判	監督職員の指示による	※2部 ●部	○要 ●不要
区分	分類・規格	撮影箇所	部数	電子データの提出												
工事写真	カラーサービス判	各工種工程毎	※1部 ●部	○要 ●不要												
完成写真	カラーサービス判	監督職員の指示による	※2部 ●部	○要 ●不要												

一般共通事項

区分	名称	部数
※完成図原図	完成図 ●原紙 ●CADデータ ●PDFデータ 施工図 ●原紙 ●CADデータ ●PDFデータ	1部
※完成図 2つ折製本	●完成図 ●完成図(縮小版) ●施工図	※2部 ●部
※完成図書 ※A4版市販ファイル ●A4版黒表紙製本	●完成図(縮小版) ●主要機器図 ●試験成績書	※2部 ●部
※保守用説明書(A4版ファイル)	※保守に関する指導案内書 ※機器取扱説明書 ※主要機器一覧表	※2部 ●部
※保証書		1部
※官公署の届出書類		1部

○他工事との取合

他工事との取り合い	建築	電気設備	機械設備
○コンクリート壁、床、梁貫通部	スリーブ・箱入 補強	● ● ●	※ ● ● ●
●鉄骨造の開口及び補強		※ ● ● ●	
●照明器具・幹線等の吊りボルト用インサート(くぎ処理共)		● ● ※ ● ●	
●軽量鉄骨壁のボックス取付用下地		● ● ※ ● ●	
●埋込分電盤・端子盤・プルボックスの仮枠及び埋込部分の補強	仮枠 補強	● ● ※ ● ●	● ● ● ●
●OAFフロア・フリーアクセスフロアの切込み及び補強		※ ● ● ● ●	
○埋込形機器取付用の天井・壁の切込加工及び下地の補強	切り込み 補強	※ ● ● ● ●	● ● ● ●
●自動開閉装置を取付ける防火戸の切込み、補強及びドアクローザ、フロアヒンジ		※ ● ● ● ●	
●電気室、自家発電室などの基礎及びビット(蓋を含む)		※ ● ● ● ●	
○天井点検口		※ ● ● ● ●	
●機器類のコンクリート基礎	屋内・屋外設置 屋上設置	● ● ● ● ※	● ● ● ●
●機器付属の制御盤及び操作盤から機器までの配線		● ● ● ● ※	
●機器用コントロールスイッチ(空調機、給湯器等)の取付及び配線		● ● ● ● ※	

○工事用水・電力・その他

○表示板

※工事表示板	●お願い表示板

17 足場

○工事用仮設物

○土工事

○保温工事

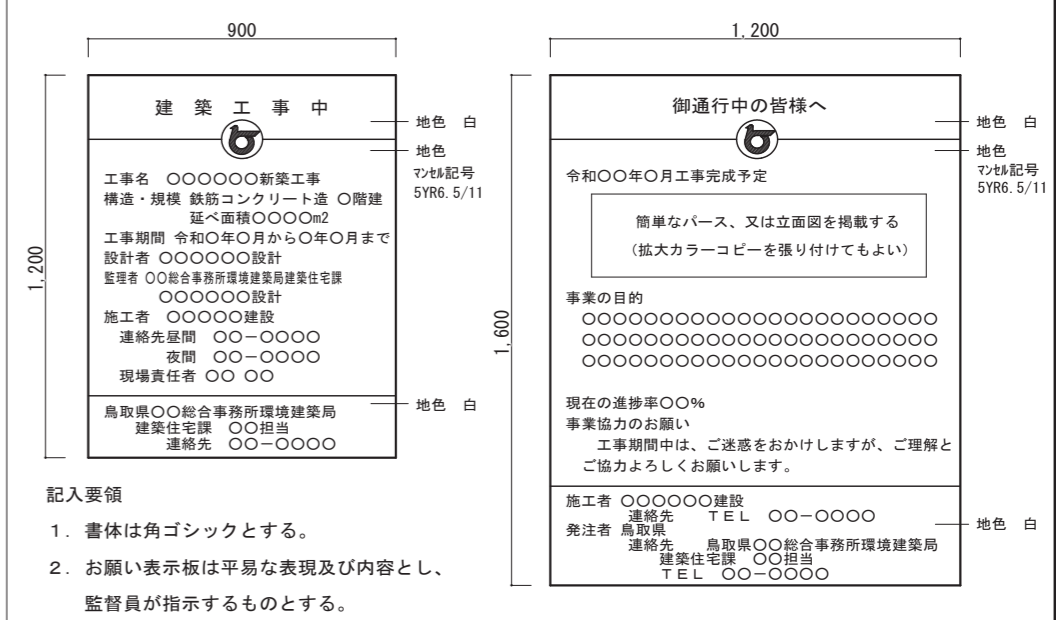
次の図書を工事の完成引渡し時に監督職員に提出する。

区分	名称	部数
※完成図原図	完成図 ●原紙 ●CADデータ ●PDFデータ 施工図 ●原紙 ●CADデータ ●PDFデータ	1部
※完成図 2つ折製本	●完成図 ●完成図(縮小版) ●施工図	※2部 ●部
※完成図書 ※A4版市販ファイル ●A4版黒表紙製本	●完成図(縮小版) ●主要機器図 ●試験成績書	※2部 ●部
※保守用説明書(A4版ファイル)	※保守に関する指導案内書 ※機器取扱説明書 ※主要機器一覧表	※2部 ●部
※保証書		1部
※官公署の届出書類		1部

他工事との取り合い	建築	電気設備	機械設備
○コンクリート壁、床、梁貫通部	スリーブ・箱入 補強	● ● ●	※ ● ● ●
●鉄骨造の開口及び補強		※ ● ● ●	
●照明器具・幹線等の吊りボルト用インサート(くぎ処理共)		● ● ※ ● ●	
●軽量鉄骨壁のボックス取付用下地		● ● ※ ● ●	
●埋込分電盤・端子盤・プルボックスの仮枠及び埋込部分の補強	仮枠 補強	● ● ※ ● ●	● ● ● ●
●OAFフロア・フリーアクセスフロアの切込み及び補強		※ ● ● ● ●	
○埋込形機器取付用の天井・壁の切込加工及び下地の補強	切り込み 補強	※ ● ● ● ●	● ● ● ●
●自動開閉装置を取付ける防火戸の切込み、補強及びドアクローザ、フロアヒンジ		※ ● ● ● ●	
●電気室、自家発電室などの基礎及びビット(蓋を含む)		※ ● ● ● ●	
○天井点検口		※ ● ● ● ●	
●機器類のコンクリート基礎	屋内・屋外設置 屋上設置	● ● ● ● ※	● ● ● ●
●機器付属の制御盤及び操作盤から機器までの配線		● ● ● ● ※	
●機器用コントロールスイッチ(空調機、給湯器等)の取付及び配線		● ● ● ● ※	

本工事に必要な工事用水、電力、水及び諸手続きなどの費用はすべて受注者の負担とする。

設ける。(寸法等は下図による。建築工事、電気設備工事等と一緒に表示する。)



17 足場

○工事用仮設物

○土工事

○保温工事

構内に作ることが	※出来る	●出来ない
(ア) 埋め戻し土	○根切土のなかの良質土(●コンクリート管以外の管の周囲は山砂の類)	●山砂の類() ●真砂土()
(イ) 建設発生土処分	●構外に搬出 ●構内に敷ならし ●構内の指示する場所に堆積	
●冷温水管(●ロックウール ●グラスウール ●ポリスチレンフォーム)		●蒸気管(●ロックウール ●グラスウール ●ポリスチレンフォーム)
○給水管(●ロックウール ●グラスウール ●ポリスチレンフォーム)	○保温チューブ(厚さ@10)	
○排水管(●ロックウール ●グラスウール ●ポリスチレンフォーム)	○給湯管(●ロックウール ●グラスウール ●保温チューブ(厚さ@)	●消火管(●ロックウール ●グラスウール ●ポリスチレンフォーム)
●ダクト(●ロックウール ●グラスウール ●)	●燃焼熱源等機械室内の配管(●ロックウール ●グラスウール)	●全熱交換機の給気ダクト(●機器外気側 ●機器室内側)は保温(グラスウール2.5mm厚)する。
●冷媒管の保温外装	●屋内(●樹脂製化粧ケース ●合成樹脂製シート)	●屋外(●樹脂製化粧ケース ●SUS鋼板)



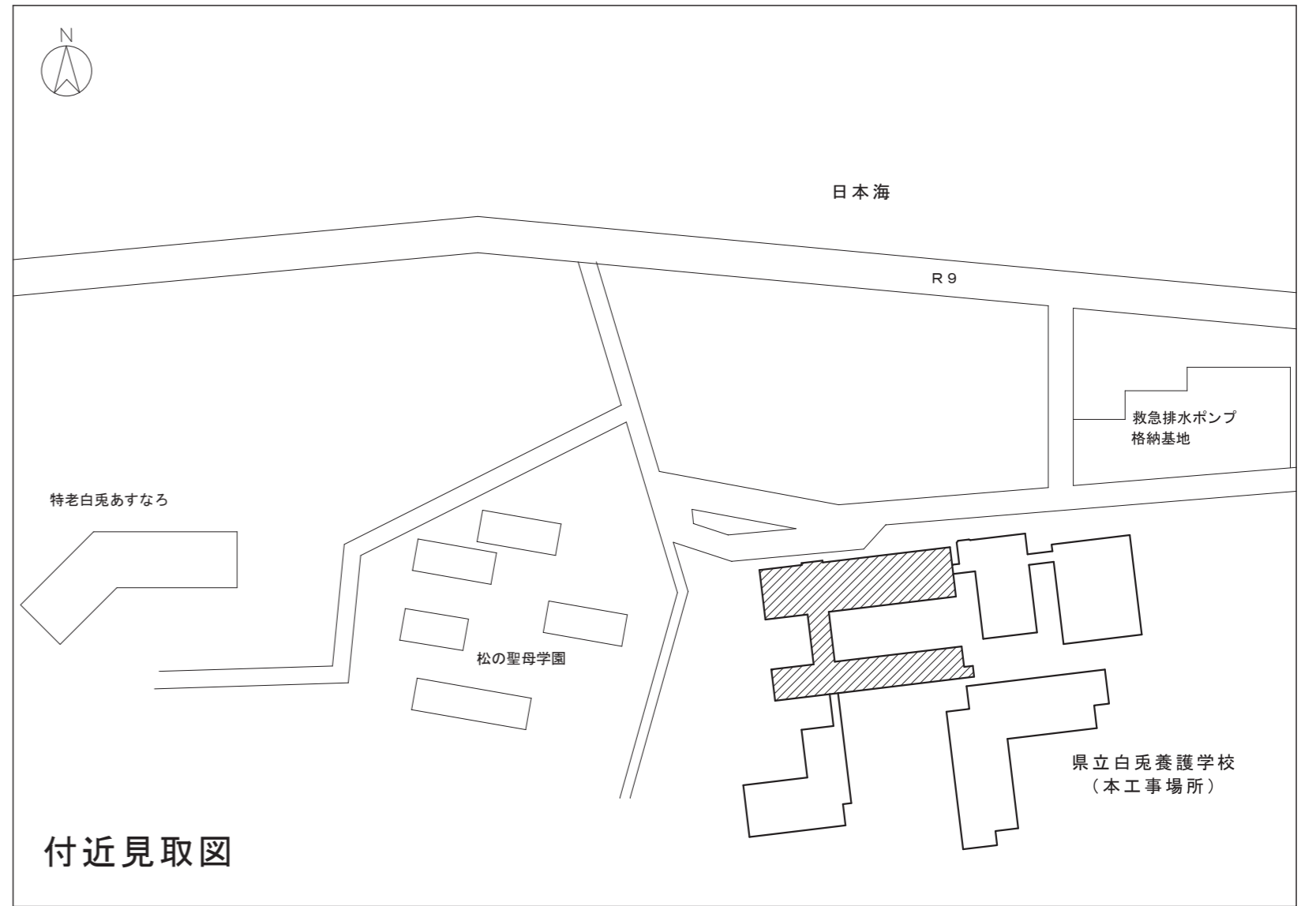
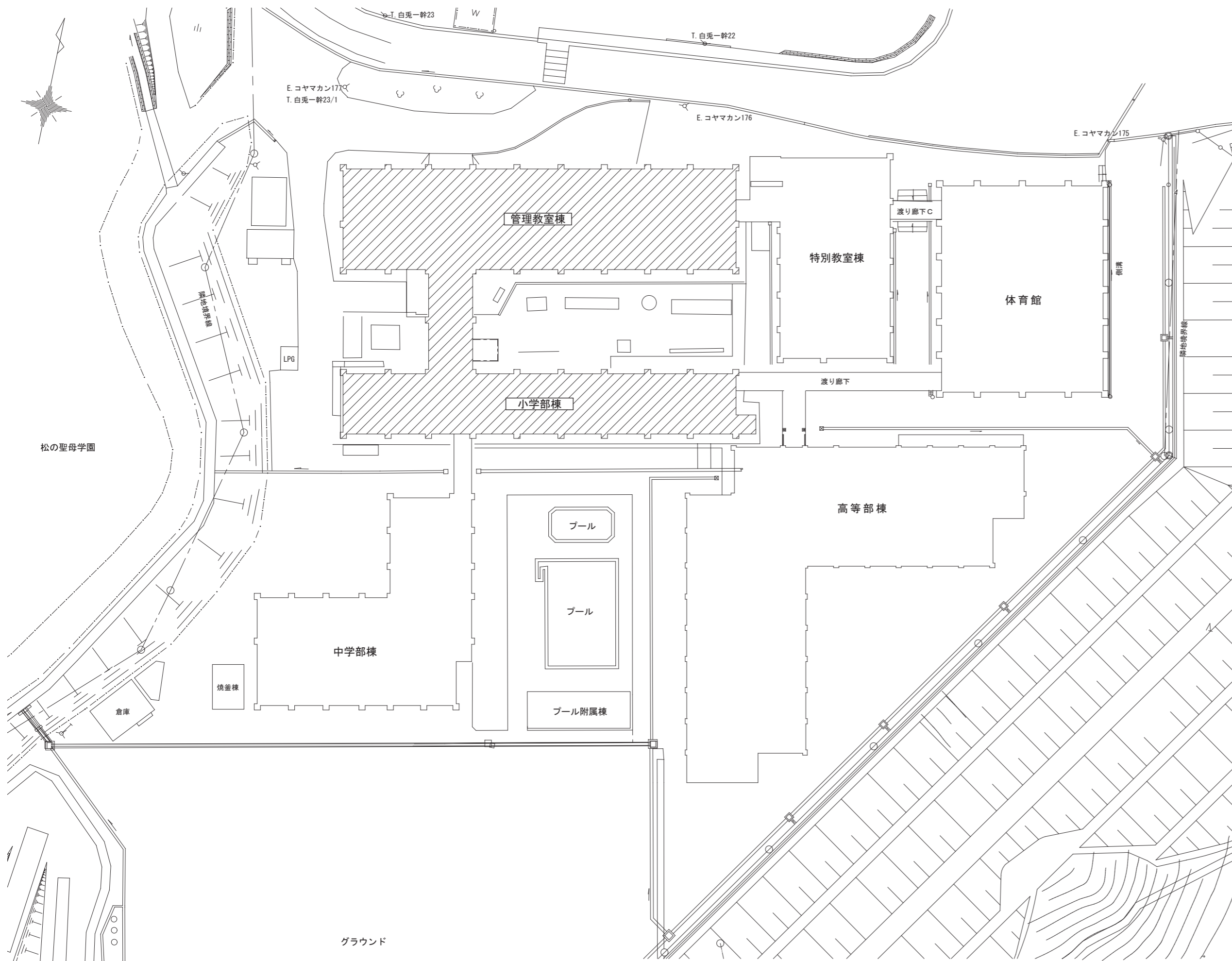
有限会社 福田設備設計

〒689-1115 鳥取市紙子谷10番地4 TEL:0857-51-8240 FAX:0857-53-4669

管理建築士 一級建築士 第376077号	福田洋之
担当者 設備設計一級建築士 第5962号	福田洋之

CHECK	DRAW
福田	福田

県立白兎養護学校管理教室棟ほかトイレ改修工事(設備)(第一期)	SCALE	No
機械設備工事特記仕様書(1)		M-01
		DATE



付近見取図

- 工事概要**
- ・トイレ改修を行う
対象室：管理教室棟1階トイレ・2階トイレ、小学部棟1階トイレ
 - 【機械設備改修】
 - ・衛生器具および付属品の撤去新設
 - ・換気扇の撤去新設
 - ・既設ガス給湯器の撤去
 - ・給排水管の全面改修
 - 【電気設備改修】
 - ・機械設備改修に伴うコンセント等の配線器具の新設・改修
 - ・照明器具のLED化改修（人感センサー（換気扇含む））



【概略工事工程表】 ※概略工事工程表は参考であり、受注者の施工計画を拘束するものではない。また改修対象となる3箇所のトイレ改修は、3箇所同時の工事を想定している

工 事	工 期		(7月)		(8月)		(9月)		(10月)		
	10	20	10	20	10	20	10	20	10	20	
建築工事 (別途工事)	準備・調査・検査等	事前準備・調査・各種届出等				※夏休み期間		養生・外部足場・内部足場・仮設間仕切等			
	仮設工事										
	撤去工事					1階床スラブ、一部壁、天井仕上及び下地、建具、トイレブース <夏休み期間を想定>					
	内装改修工事							床・壁・天井下地施工		床・壁・天井仕上	
	塗装改修工事									仕上塗装	
その他工事											
電気設備工事					機器・配線・配管撤去 <夏休み期間を想定>		既存鉄筋処理・1階床スラブ配筋・コンクリート打設・養生		建具・トイレブース 発注・製作及び設置		
機械設備工事					機器・配線・配管撤去に伴う掘削・土搬出処分 <夏休み期間を想定>		配管改修、埋め戻し(地業含む)、配管に伴う床スラブ補修・養生		配線改修		
							天井内配管改修		機器取付		
									機器取付		

配置図 S=1/500

：工事建物を示す

有限会社 福田設備設計

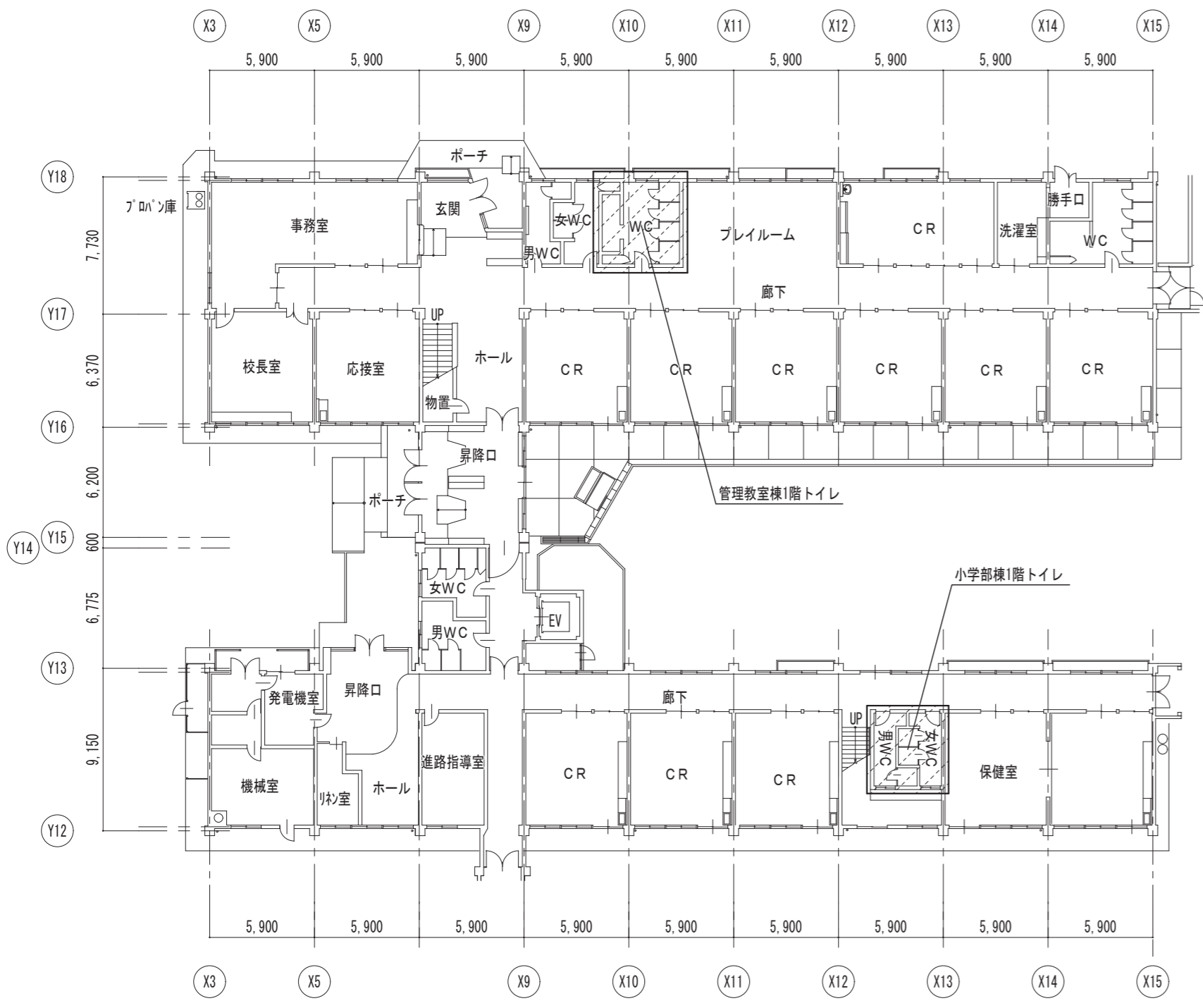
〒689-1115 鳥取市紙子谷10番地4 TEL:0857-51-8240 FAX:0857-53-4669

管理建築士 一級建築士 第376077号 福田洋之
担 当 者 福田洋之
設備設計一級建築士 第5962号 福田洋之

CHECK DRAW
福田 福田

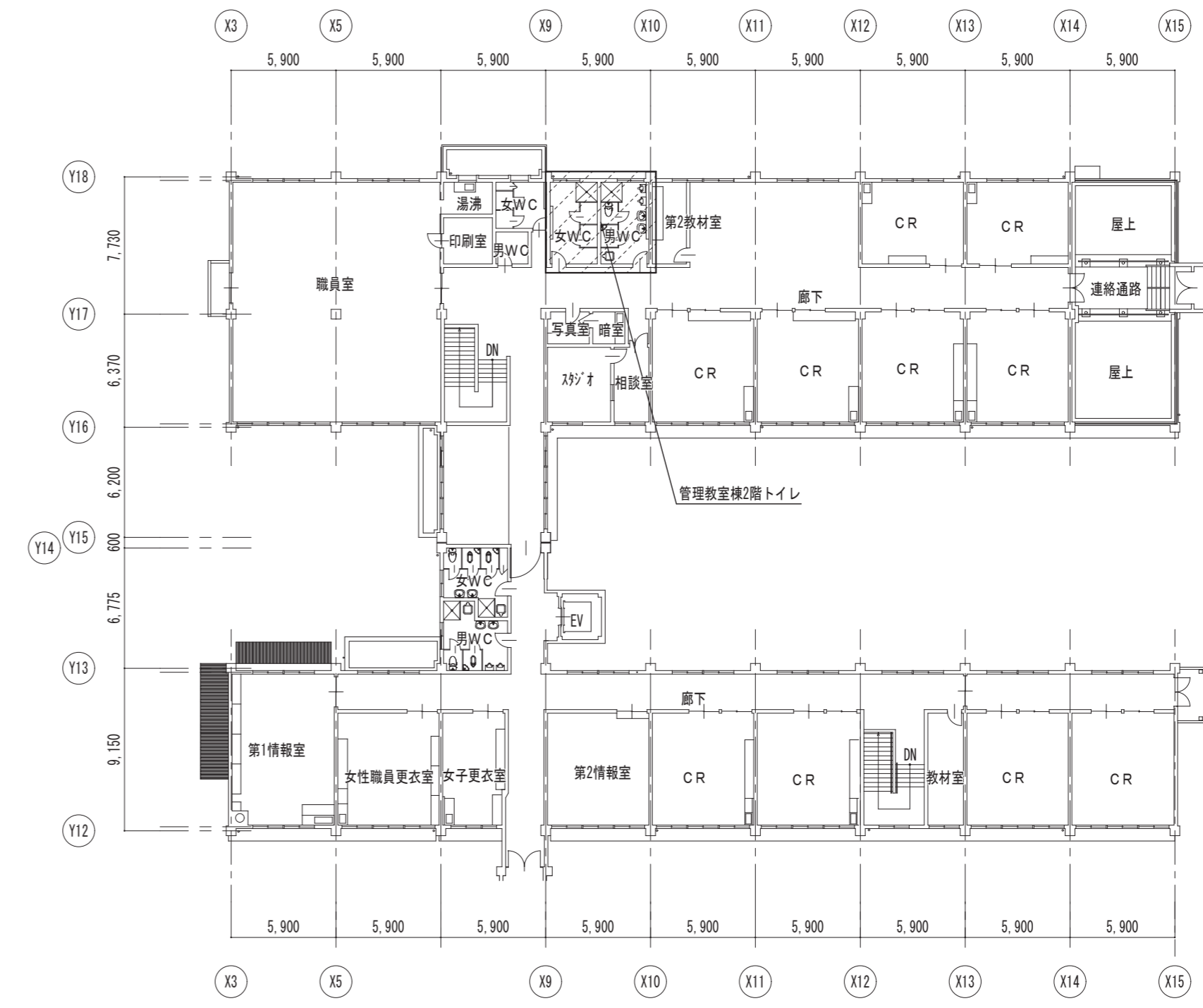
県立白兔養護学校管理教室棟ほかトイレ改修工事(設備)(第一期)
付近見取図、配置図、工事概要

SCALE No
1/500 M-03
DATE



管理教室棟・小学部棟 1階 平面図 S=1/300

：工事場所を示す



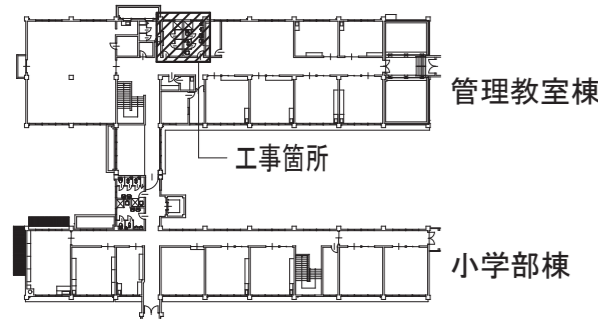
管理教室棟・小学部棟 2階 平面図 S=1/300

：工事場所を示す



有限会社 福田設備設計 〒689-1115 鳥取市紙子谷10番地4 TEL:0857-51-8240 FAX:0857-53-4669	管理建築士 一級建築士 第376077号 福田洋之	CHECK 福田	DRAW 福田	県立白兔養護学校管理教室棟ほかトイレ改修工事(設備)(第一期) 管理教室棟・小学部棟 1、2階 平面図	SCALE 1/300	No M-04 DATE
	担当者 設備設計一級建築士 第5962号 福田洋之	福田	福田	県立白兔養護学校管理教室棟ほかトイレ改修工事(設備)(第一期) 管理教室棟・小学部棟 1、2階 平面図	SCALE 1/300	No M-04 DATE

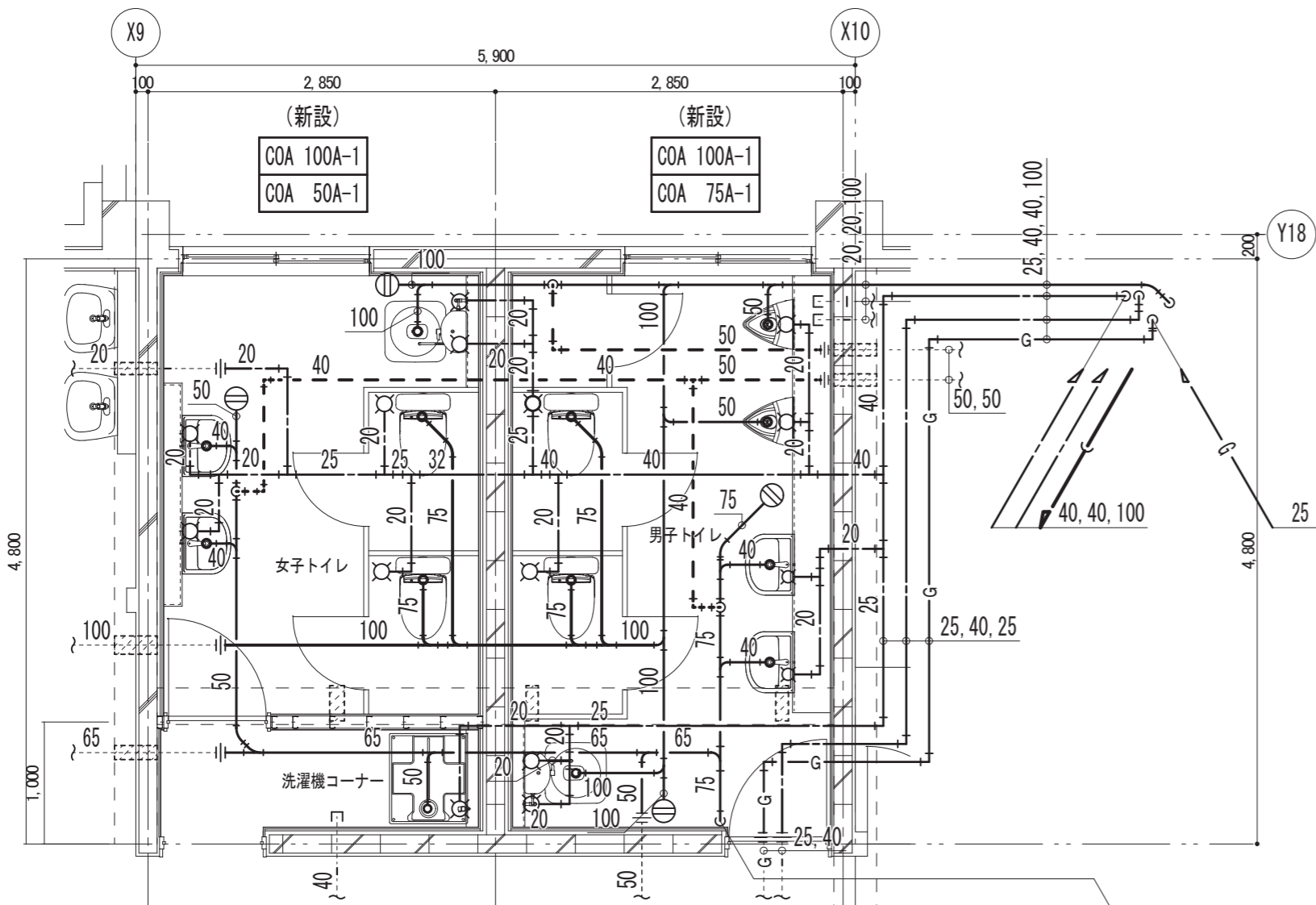
KEY PLAN



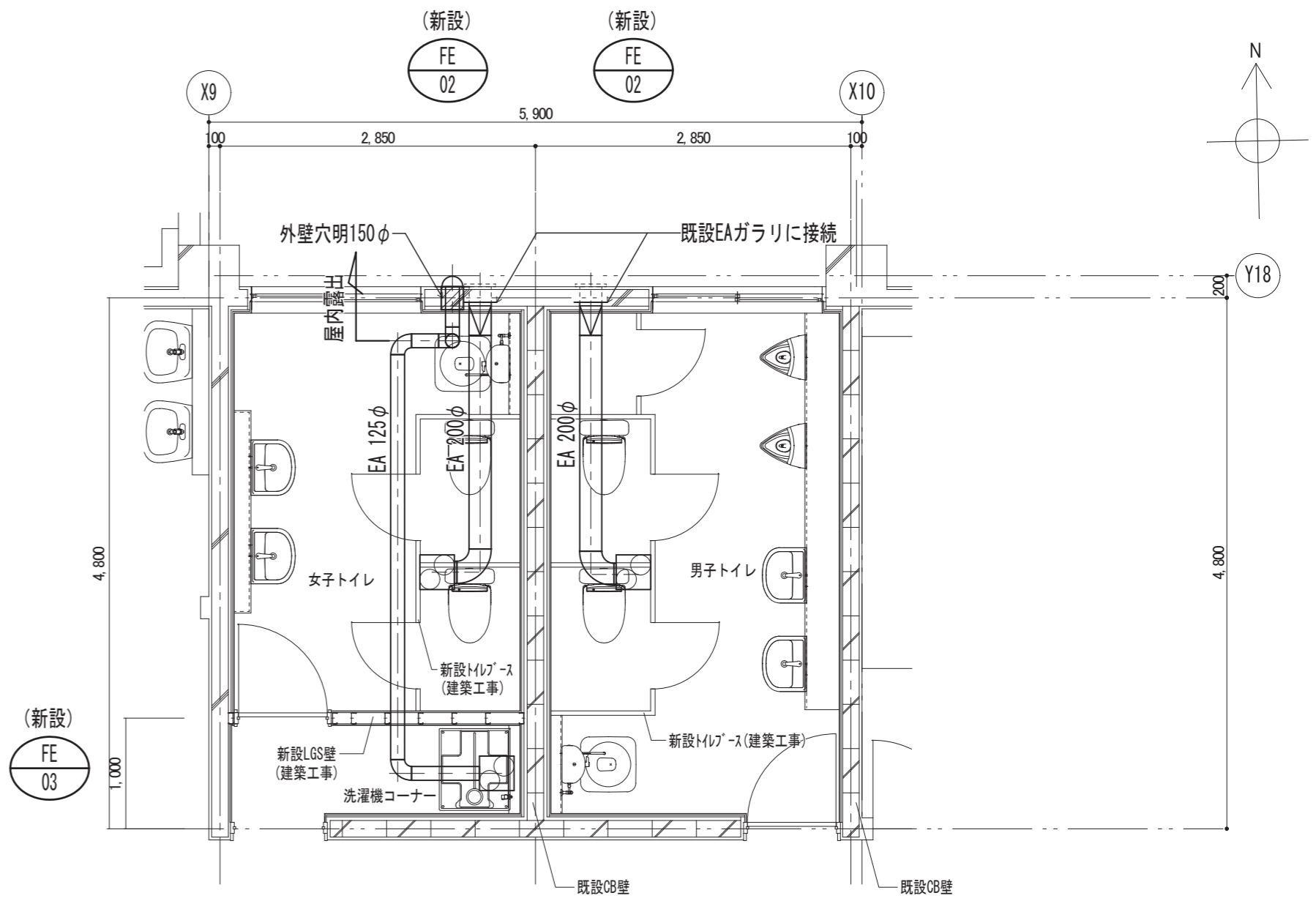
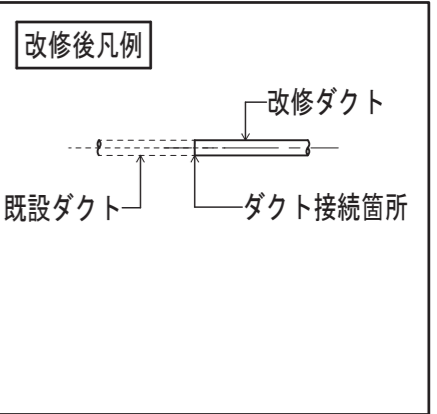
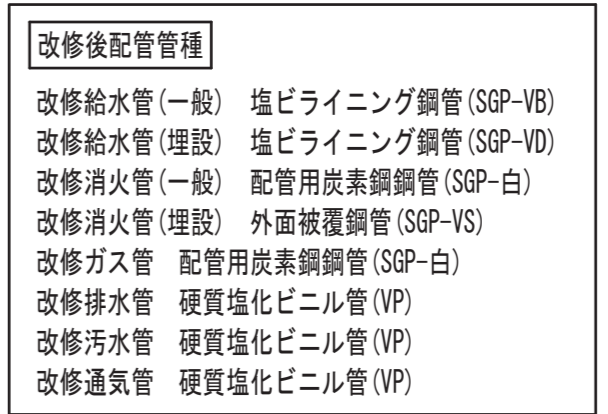
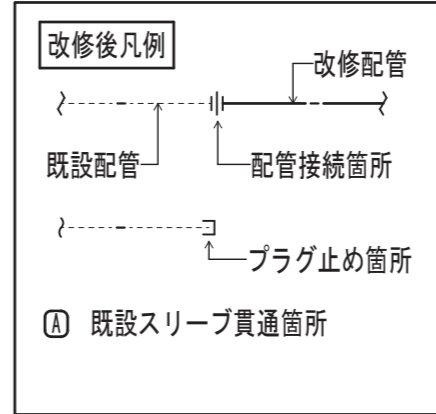
【特記事項】

- ・改修対象室の天井については撤去・復旧を建築工事にて行う。(天井材・天井下地共)
- ・器具・手すりの下地補強は建築工事にて行う。
- ・和風便器等撤去後の開口部床スラブ復旧は本工事で行う。
- ・工事範囲外の断水期間を出来るだけ短くするよう工程を調整すること。既設配管の撤去時期の調整、既存系統への新設配管を先行して行う等。

2階平面図



管理教室棟 2階トイレ 配管図 (改修後) S=1/50



管理教室棟 2階トイレ ダクト図 (改修後) S=1/50

改修後衛生器具表 (新設)

名称	品番	品番(参考)	数量
洋風便器	CS597BCS	SH596BAYR、洗浄便座(TCF5534)、YH702	4
汚物用流し	SKL330TNFPR	掃除口付、ロータンク、補高台	2
ストール小便器	UFS900WR	壁排水、自己発電式自動洗浄	2
洗面器	L250C	TLE28SS1W(自己発電式自動水栓)、壁給水、壁排水	4
化粧鏡	YM3560A		4
洗濯機パン	PWP740N2W	PJ2004B(鍍物排水トラップ)	1
横水栓	TW11R		1
L形手すり	T112CL10	T110D37×3、T110D44×3	4

床穴明リスト ※コンクリート厚=240mm(参考)

用途	穴明サイズ	数量
洋風便器	給水φ50×1、排水φ125×1	4
汚物用流し	給水φ50×2、排水φ150×1	2
ストール小便器	給水φ50×1、排水φ100×1	2
洗面器	給水φ50×1、排水φ100×1	4
洗濯機パン	給水φ50×1、排水φ150×1	1
COA 100A	φ 150×1	2
COA 75A	φ 125×1	1
COA 50A	φ 100×1	1

改修後機械器具表 (新設)

記号	名称	仕様	数量
FE-02	天井埋込換気扇	サンタリー用 340m3/h×80Pa 150φ、1-100V×82W	2
FE-03	天井埋込換気扇	サンタリー用 110m3/h×60Pa 100φ、1-100V×15.5W、深形パイプフード(重耐塩害焼付塗装) 125φ	1

※手すり、紙巻器、機器ボタン等の取付位置は、JIS S 0026・鳥取県福祉のまちづくり施設整備マニュアル参照



有限会社 福田設備設計

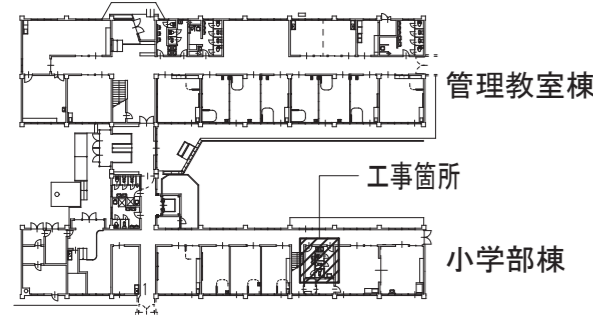
管理建築士 一級建築士 第376077号 福田洋之
担当 設備設計一級建築士 第5962号 福田洋之

CHECK DRAW
福田 福田

県立白兔養護学校管理教室棟ほかトイレ改修工事(設備)(第一期)
管理教室棟 2階トイレ 配管図、ダクト図(改修後)

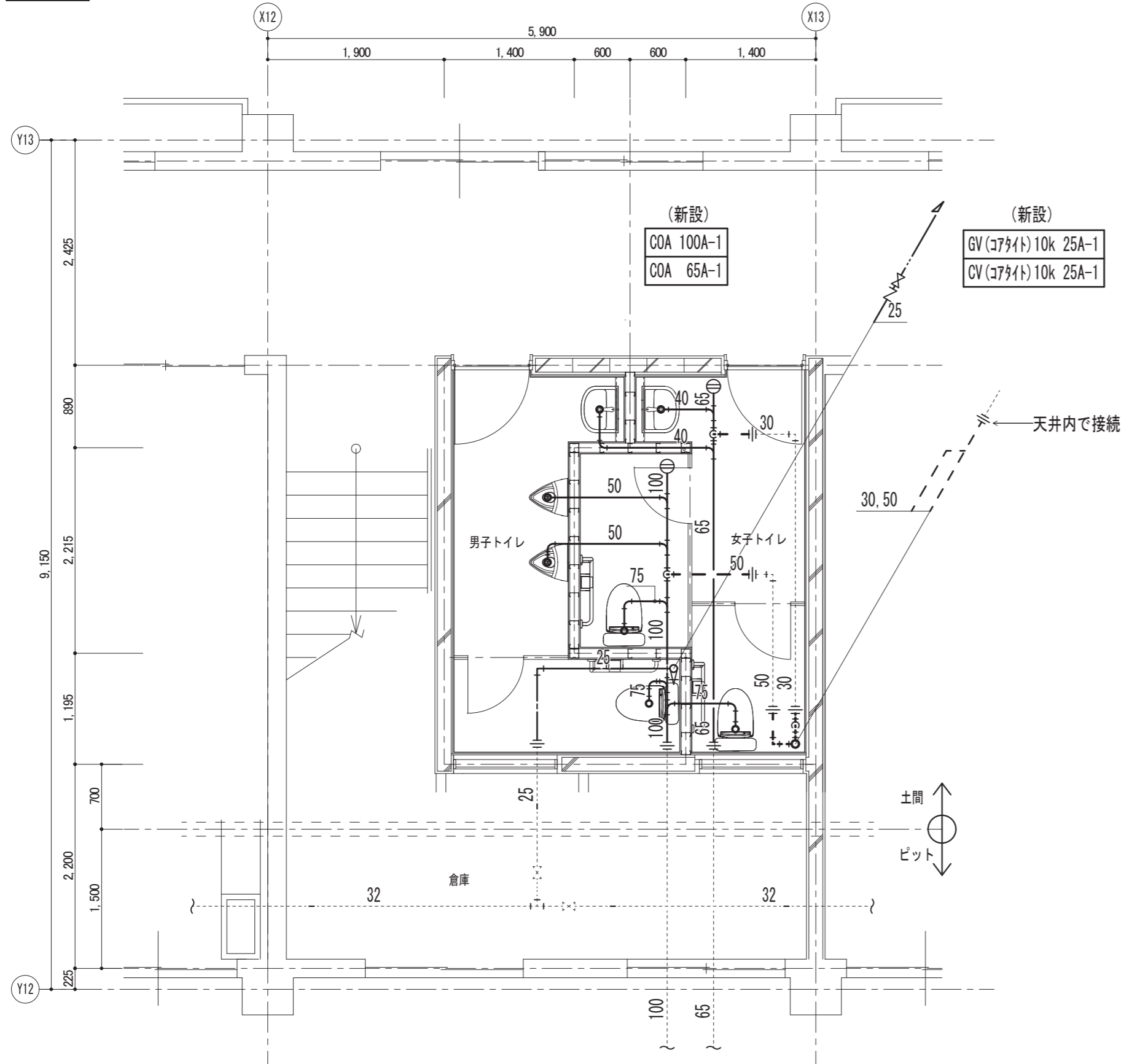
SCALE No
1/50 M-06
DATE

KEY PLAN



1階平面図

- 【特記事項】
- ・改修対象室の天井については撤去・復旧を建築工事にて行う。(天井材・天井下地共)
 - ・器具・手すりの下地補強は建築工事にて行う。
 - ・土間配管のための土工事は本工事で行う。
 - ・スラブ下の砕石は処分し、再生砕石にて復旧すること。
 - ・床、土間スラブ撤去・復旧は建築工事。

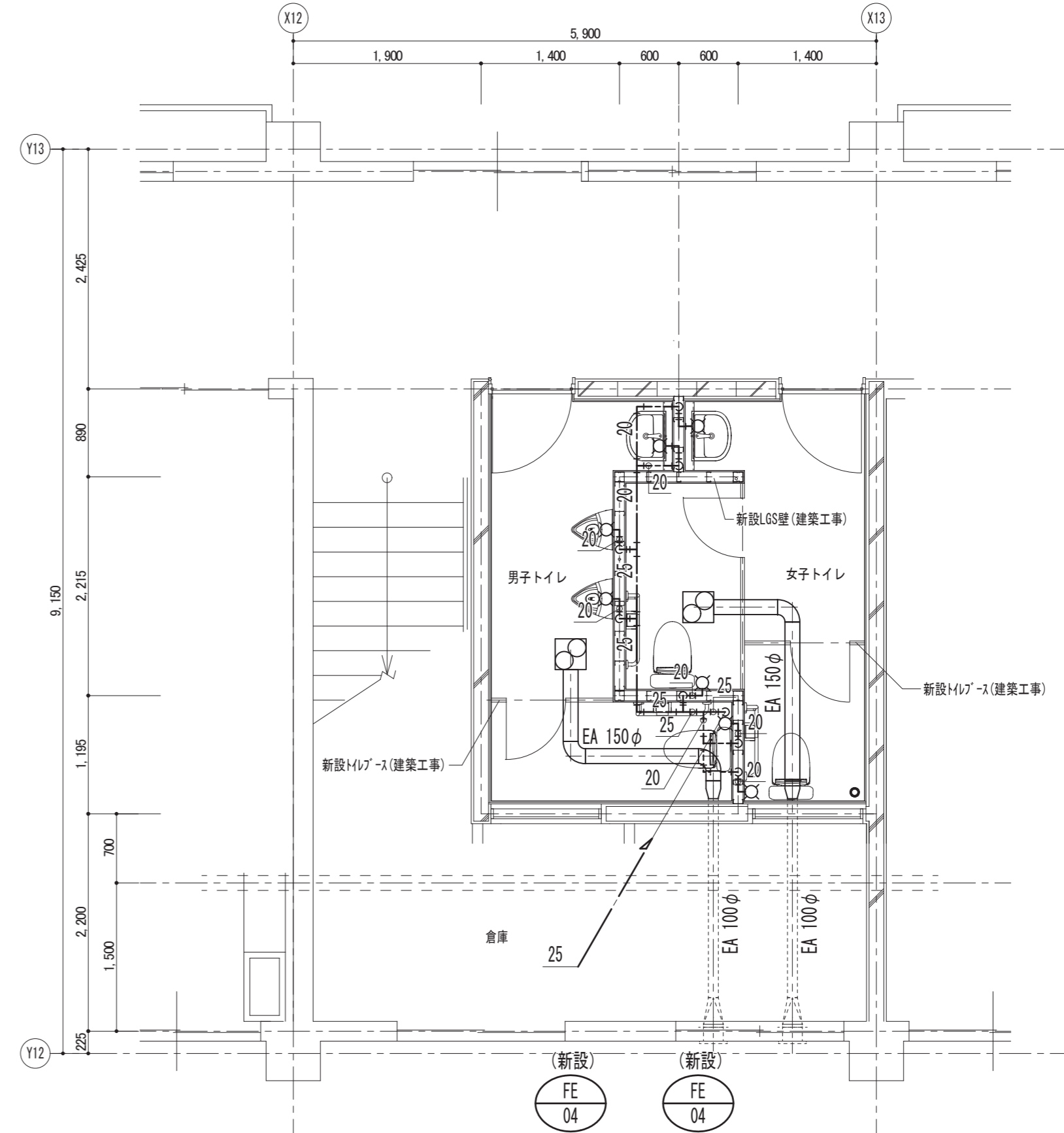
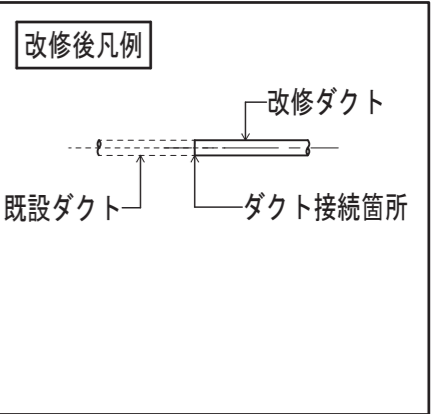
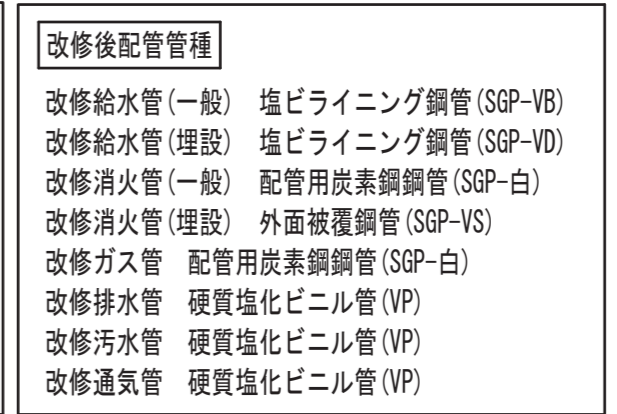
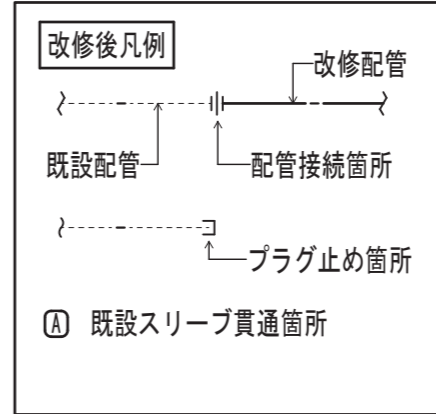


小学部棟 1階トイレ 配管図 (改修後) S=1/50

改修後衛生器具表 (新設)

名称	品番	品番 (参考)	数量
洋風便器	CS597BCS	SH596BAYR、洗浄便座(TCF5534)、YH702	3
ストール小便器	UFS900WR	(壁排水、自己発電式自動洗浄)	2
洗面器	L250C	TLE28SS1W(自己発電式自動水栓)、壁給水、壁排水	2
化粧鏡	YM3560A		2
L形手すり	T112CL10	T110D37×3、T110D44×3	3

※手すり、紙巻器、機器ボタン等の取付位置は、JIS S 0026・鳥取県福祉のまちづくり施設整備マニュアル参照



小学部棟 1階トイレ 天井配管・ダクト図 (改修後) S=1/50

改修後機械器具表 (新設)

記号	名称	仕様	数量
FE-04	天井埋込換気扇	サニタリー用 230m3/h×100Pa 150φ、1-100V×49W	2



有限会社 福田設備設計

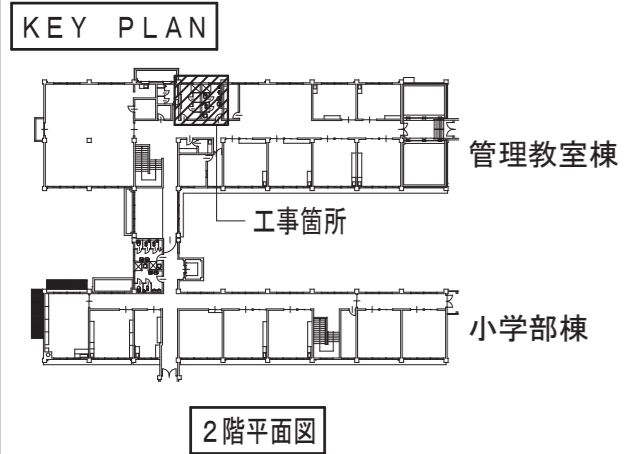
〒689-1115 鳥取県紙子谷10番地4 TEL:0857-51-8240 FAX:0857-53-4669

管理建築士 福田洋之
 一級建築士 第376077号
 担当者 福田洋之
 設備設計一級建築士 第5962号

CHECK DRAW
 福田 福田

県立白兎養護学校管理教室棟ほかトイレ改修工事(設備)(第一期)
 小学部棟 1階トイレ 配管図、天井配管・ダクト図(改修後)

SCALE No
 1/50 M-07
 DATE

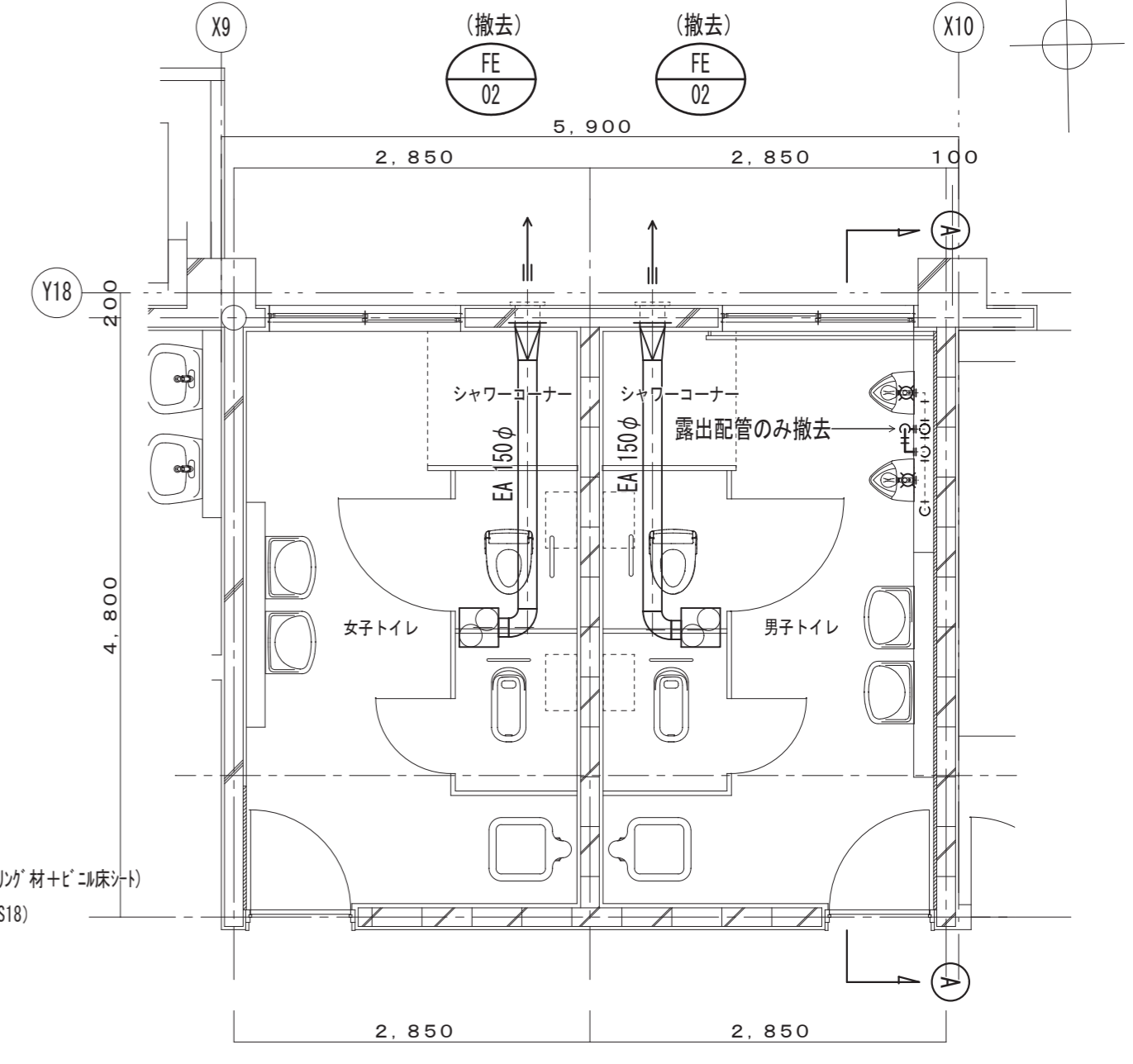
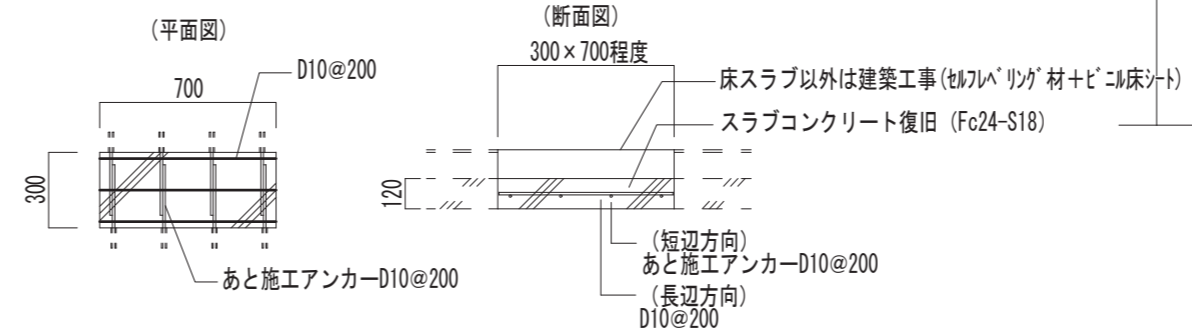
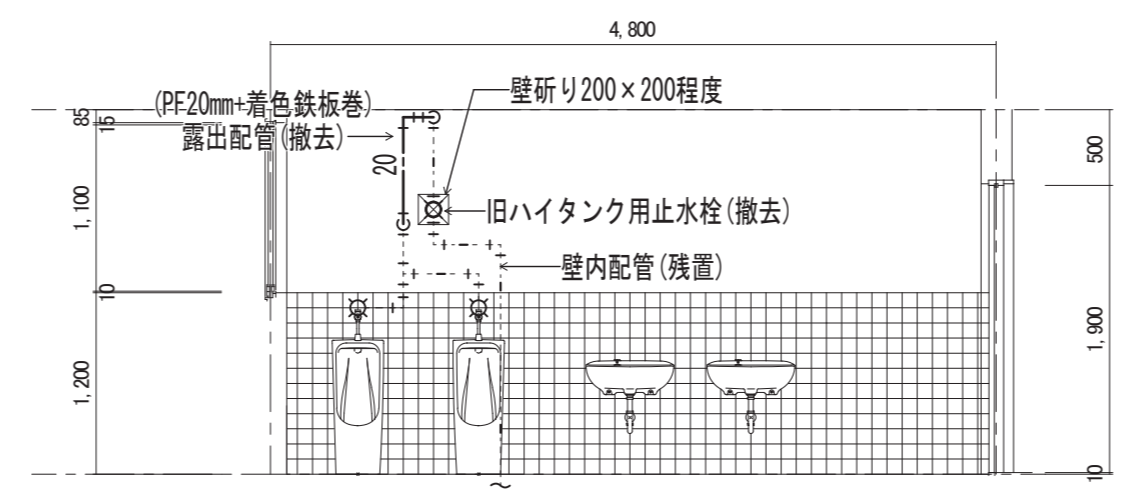
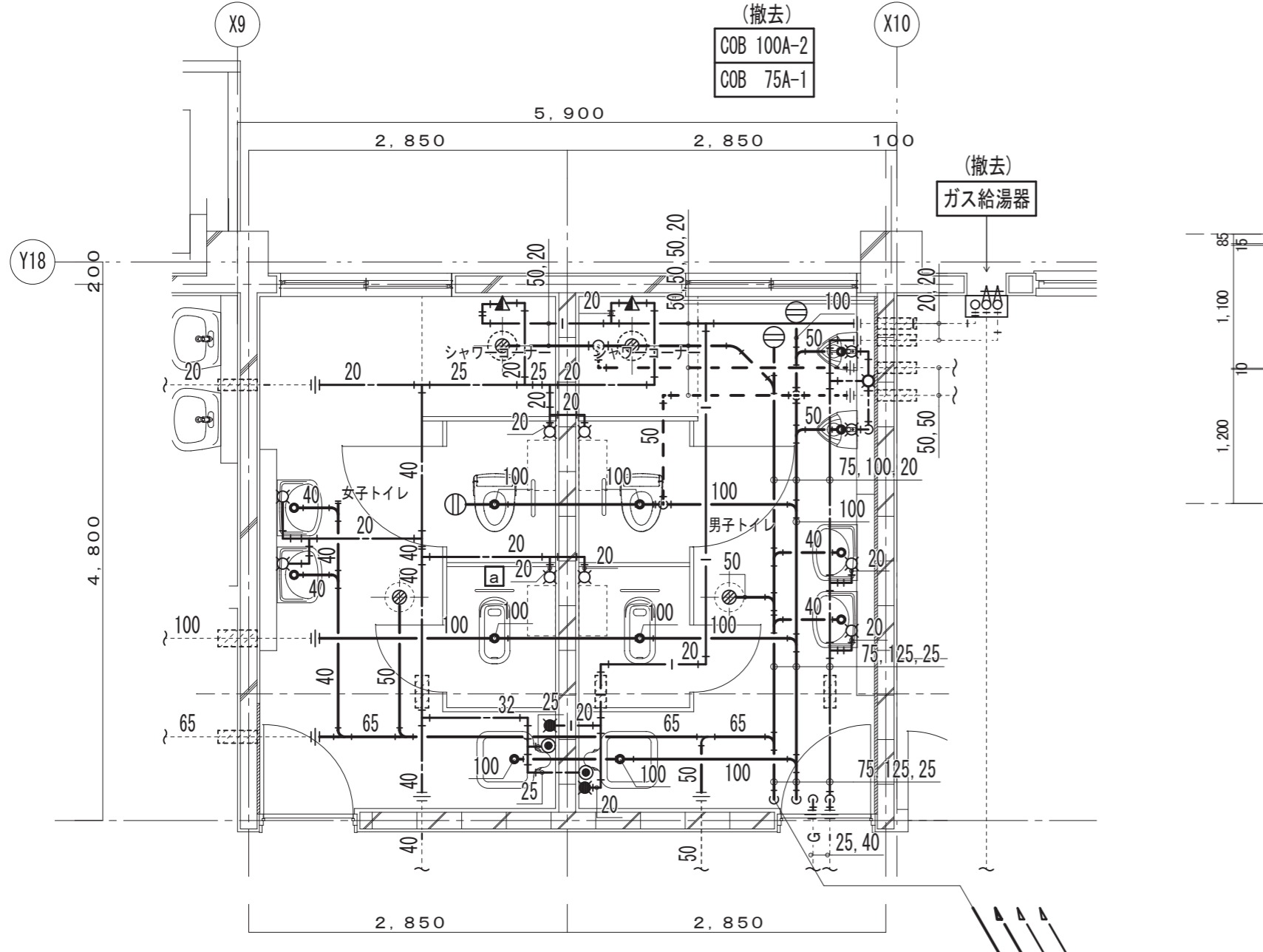
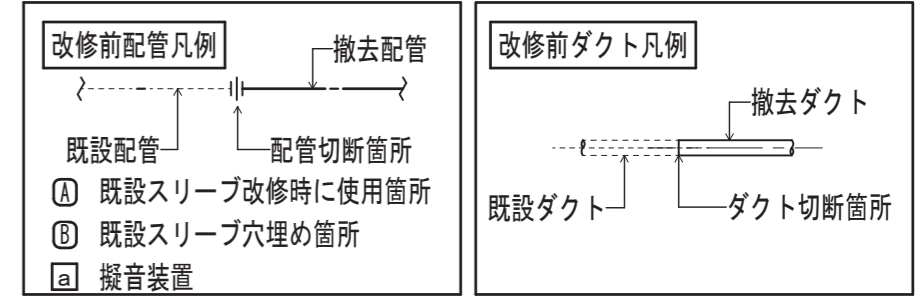
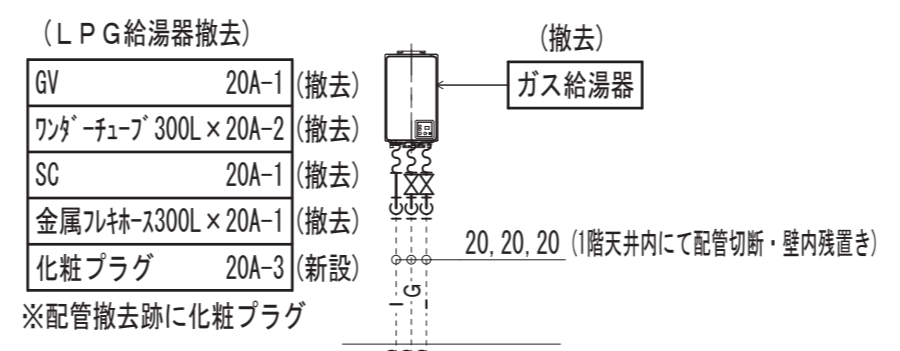


改修前配管管種

既設給水管(一般) 塩ビライニング鋼管(SGP-VB)
 既設給水管(埋設) 塩ビライニング鋼管(SGP-VD)
 既設給湯管 塩ビライニング鋼管(HTLP)
 既設消火管 配管用炭素鋼管(SGP-白)
 既設ガス管 配管用炭素鋼管(SGP-白)
 既設排水管 硬質塩化ビニル管(VP)
 既設汚水管 硬質塩化ビニル管(VP)
 既設通気管 硬質塩化ビニル管(VP)

【特記事項】

- 改修対象室の天井については撤去・復旧を建築工事にて行う。(天井材・天井下地共)
- 和風便器等撤去後の開口部床スラブ復旧は本工事で行う。
- 工事範囲外の断水期間を出来るだけ短くするよう工程を調整すること。
- 既設配管の撤去時期の調整、既存系統への新設配管を先行して行う等。



改修前衛生器具表(撤去) ※大便器用ハイタンク~便器までの露出洗浄管共撤去

名称	付属品(参考品番)	数量	名称	付属品(参考品番)	数量
洋風便器	C14、ハイタンク、洗浄便座(TGF6321E)、分岐水栓、紙巻き器	2	LPG給湯器	屋内設置型FF式16号(PH-16CWQT)	1
和風便器	C75、ハイタンク+FV、紙巻き器	2	シャワー付混合水栓	13A(壁内配管残置き)	2
汚物用流し	SK33、FV(壁付)、自在水栓13A	2	化粧鏡	TS119AS4	2
ストール小便器	U508C、TG600PN	2	大便器用門型手すり	床取付、SUS製(300W×300H)	4
洗面器	L230、自動水栓(自己発電)、壁給水、壁排水	3	床トラップ	T5B-50A	4
洗面器	L230、T205、壁給水、壁排水	1			
擬音装置		1			

床穴埋リスト ※コンクリート厚=240mm(参考)

用途	穴埋サイズ	数量
洋風便器	排水φ125×1	2
汚物用流し	排水φ150×1	2
ストール小便器	排水φ100×2	1
洗面器	給水φ50×1、排水φ100×1	4
和風便器	復旧図参照	2
排水金物	床トラップ・掃除口φ150	7

器具廻り配管切断リスト

用途	切断サイズ	数量
洋風便器	給水管20A×1	2
和風便器	給水管20A×1	2
汚物用流し	給水管25A×1、給湯20A×1	2
シャワー付混合水栓	給水管20A×1、給湯20A×1	2
ガス給湯器	給水管20A×1、給湯20A×1、ガス管20A×1	1
ストール小便器	給水20A×1	1

改修前機械器具表(撤去)

記号	名称	仕様(参考品番)	数量
FE-02	天井埋込換気扇	V-18Z2 150φ、1-100V×55W	2



有限会社 福田設備設計

〒689-1115 鳥取市紙子谷10番地4 TEL:0857-51-8240 FAX:0857-53-4669

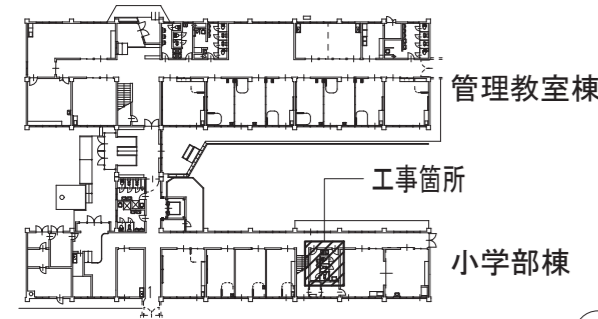
管理建築士 福田洋之
 一級建築士 第376077号
 担当者 福田洋之
 設備設計一級建築士 第5962号

CHECK DRAW
 福田 福田

県立白兔養護学校管理教室棟ほかトイレ改修工事(設備)(第一期)
 管理教室棟 2階トイレ 配管図、ダクト図(改修前)

SCALE No
 1/50 M-09
 DATE

KEY PLAN



1階平面図

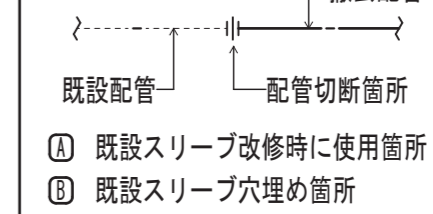
改修前配管管種

- 既設給水管(一般) 塩ビライニング鋼管(SGP-VB)
- 既設給水管(埋設) 塩ビライニング鋼管(SGP-VD)
- 既設給湯管 塩ビライニング鋼管(HTLP)
- 既設ガス管 配管用炭素鋼管(SGP-白)
- 既設排水管 硬質塩化ビニル管(VP)
- 既設汚水管 硬質塩化ビニル管(VP)
- 既設通気管 硬質塩化ビニル管(VP)

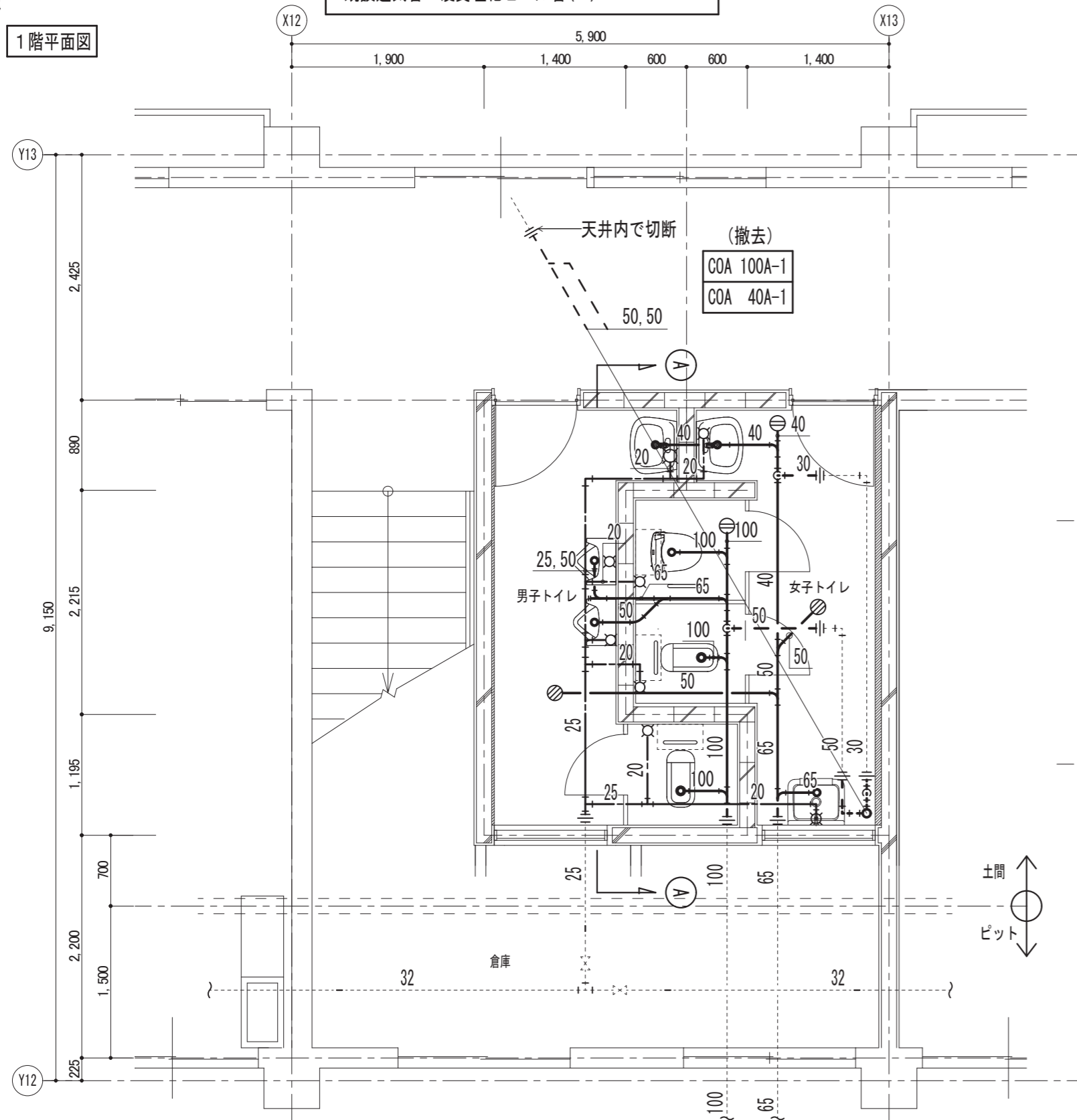
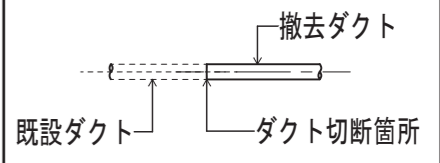
【特記事項】

- ・改修対象室の天井については撤去・復旧を建築工事にて行う。(天井材・天井下地共)
- ・土間配管のための土工事は本工事で行う。
- ・スラブ下の砕石は処分し、再生砕石にて復旧すること。
- ・床、土間スラブ撤去・復旧は建築工事。

改修前配管凡例

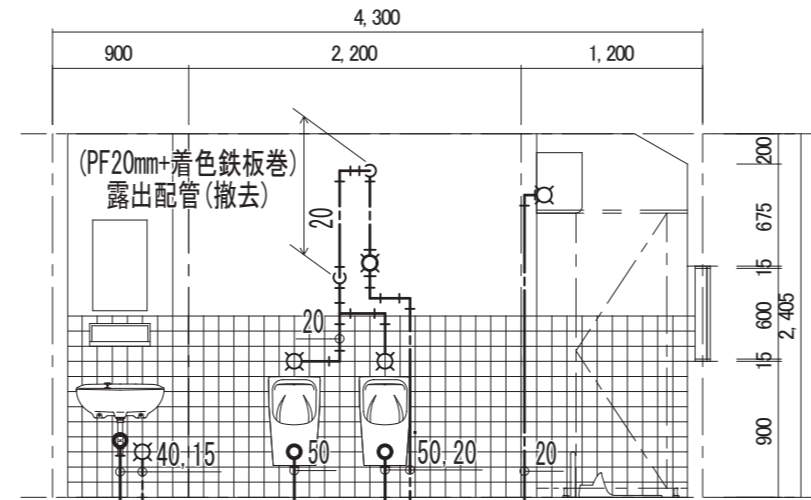


改修前ダクト凡例



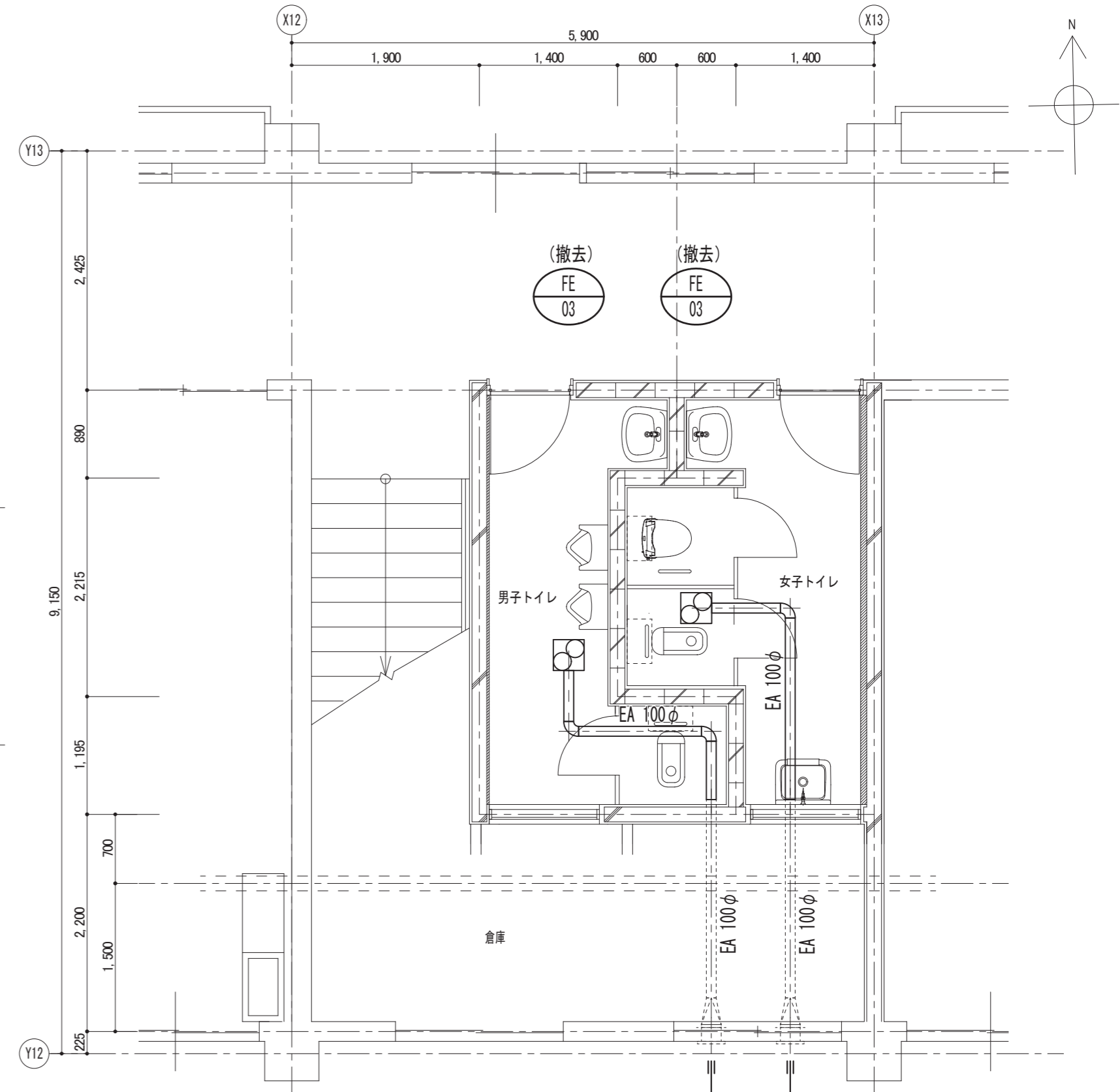
小学部棟 1階トイレ 配管図(改修前) S=1/50

※掃除用流しの壁内配管は床下にて切断とし壁内残置とする(他の配管は撤去)



A-A 断面図 S=1/50

※明記の無い配管は壁内配管(撤去)
※壁内配管撤去部分の溝研り(100幅程度)は本工事とする



小学部棟 1階トイレ ダクト図(改修前) S=1/50

改修前衛生器具表 (撤去)

名称	付属品(参考品番)	数量
洋風便器	C14、ハイタンク、暖房便座(TGF222)、紙巻き器	1
和風便器	C75、ハイタンク+FV、紙巻き器	2
掃除用流し	SK22	1
ストール小便器	壁掛型、T60P	2
洗面器	L230、自動水栓(自己発電式)、壁給水、壁排水	2
化粧棚	S1(壁埋込)	2
化粧鏡	TS119AS4	2
大便器用門型手すり	床取付、SUS製(300W×300H)	3
床トラップ	T5A-50A	2

器具廻り配管切断リスト

用途	切断サイズ	数量
掃除用流し	給水管20A×1	1

改修前機械器具表 (撤去)

記号	名称	仕様(参考品番)	数量
FE-03	天井埋込換気扇	V-13Z2 100φ、1-100V×39W	2

有限会社 福田設備設計

〒689-1115 鳥取市紙子谷10番地4 TEL:0857-51-8240 FAX:0857-53-4669

管理建築士
一級建築士 第376077号 福田洋之
担当者
設備設計一級建築士 第5962号 福田洋之

CHECK DRAW
福田 福田

県立白兎養護学校管理教室棟ほかトイレ改修工事(設備)(第一期)
小学部棟 1階トイレ 配管図、天井配管・ダクト図(改修前)

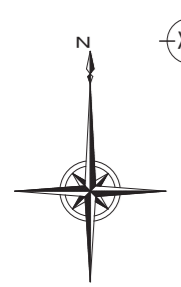
SCALE

1/50

No M-10
DATE

鳥取県
令和7年度
J2500782
東部建築住宅
事務所

一 般 共 通 事 項	15 工 事 用 仮 設 物 16 土 工 事	構内につくることが ※ できる ● できない 埋 め 戻 し 土 ※ 根切土中の良質土 ● 山砂の類 () ● 真砂土 () 建設発生土の処理 ● 構外に搬出し適切に処理 ※ 構内敷きならし ● 構内の指示する場所に堆積 本工事では環境配慮の観点から、原則としてEMケーブルを使用するものとする。 EM電線類で規格等の定めのないものはハロゲン及び鉛を含まない材料で構成されたものとする。 通信ケーブルでJCS規格にない対数のケーブルはJCS規格に準じたものとする。 盤内配線はEM電線を使用する。ただし、製造者標準品と特記したものは除く。 ハーネスジョイントボックス用OAタップのケーブルはハロゲン及び鉛を含まない材料とする。 分電盤、制御盤、端子盤などの2次側以降の配線経路、電線太さ、電線本数、管径などは監督職員の承諾を受けて変更してもさしつかえない。 屋外露出配管（厚鋼電線管）で塗装を行わない場合は、溶融亜鉛めっき仕上げ〔めつき付着量 300g/m以上〕とする。 塗装する部分 ● 屋上 ● 屋側 ● 屋外 ● 廊下 ● 機械室 ● 居室 () ● 波付硬質合成樹脂管（FEP）を使用する場合は不燃又は難燃性とする。	一 般 共 通 事 項	30 補 修 な ど 31 は つ り 32 はつり工事における非破壊検査 33 あと施工アンカー	工事の施工に伴い既存部分を汚染又は損傷の場合は、既成にならない補修する。 既存のコンクリート床、壁などの配管貫通部の穴あけは、原則としてダイヤモンドカッターによる。 探査方法 ※電磁誘導式 ● 放射線透過検査 ● 1) 施工後確認試験 ※ 行わない ● 行う 試験方法 引張試験機による引張試験 確認強度 対象機器ごとのアンカーボルト1本に作用する引抜き力以上 試験箇所数 1 施工単位に対し1本以上 対象機器 ● 配電盤 ● 発電装置 ● 直流電源装置 ● 太陽光発電装置 実施する。 工事目的物及び工事材料等工事施工中の事故に伴う損害を補てんするため火災保険等に加入する。 （保険の加入期限は、工事完成引渡しまで〔概ね工期+21日〕とする。） ※ 対象工事 ※ 対象工事	10 拡 設 11 誘 導 12 火 災 報 知 設 備	1 増 幅 器 形式（● 卓上形 ● ラック形） 定格出力（ W） 性能（● Hi形 ● Lo形） ● 増幅器の入出力配線と外部配管（壁ボックス等）の接続はコネクタによる。	11 誘 導 1 音 声 誘 導 装 置 検出方式（● 磁気方式 ● 無線方式 ● 画像認識方式）	12 火 災 報 知 設 備 1 自 動 火 災 報 知 設 備 2 自 動 閉 鎖 設 備 3 ガス漏れ火災警報設備 受信機（● 型 級 回線〔音積型〕 ● 複合形 ● 単独形） ● 防火戸用（※ ラッチ式 ● 電磁式） ● 防煙ダンパー用（※ 電動復帰 ● 手動復帰） ● 防火シャッター用（※ 別途工事 ● 本工事） 検知器（● 天井取付形 ● 壁取付形）	13 構 内 配 電 線 路 1 施 工 方 法 埋設深さ ※ GL-300以上、舗装のある場合は路盤下-300以上とする。 ● GL-600以上（● 車路 ● 高圧配線 ● 幹線 ● ） 蓋の記号表示は鋳型流込み（鳥取県又は鳥取県章、及び用途を記入）とし、ハンドホール内のケーブル支持等はマンホールに準じて行う。アスファルト舗装面に使用するハンドホール及び鉄蓋はアスファルト舗装用とする。 2 地 中 箱 ● 閉鎖形（● 軽耐塩形 ● 重耐塩形） ● 地絡継電器付（※ 方向性 ● 無方向性） ● 避雷器内蔵 ※ 別置制御装置までの制御ケーブルを付属する。 3 高 圧 負 荷 開 閉 器 高圧ケーブルの高端部にシースの縮み対策（熱伸縮テープによるシースずれ止め対策等）を行う。 4 高 圧 ケーブルの端 末 部 ● 一般形 ● 耐塩形 5 高 圧 ケーブルの屋外端末処理 ※ 高圧 ● 低圧 6 標 識 シ ー ト 照明用ポールには配線用遮断器（トリップ機能なし）又はカットアウトスイッチ（素通しヒューズ）を内蔵する。ただし、ガーデンライトは除く。	14 構 内 通 信 線 路 1 施 工 方 法 埋設深さ ※ GL-300以上、舗装のある場合は路盤下-300以上とする。 ● GL-600以上（● ● ● ） 2 地 中 箱 蓋の記号表示は鋳型流込み（鳥取県又は鳥取県章、及び用途を記入）とし、ハンドホール内のケーブル支持等はマンホールに準じて行う。アスファルト舗装面に使用するハンドホール及び鉄蓋はアスファルト舗装用とする。 3 標 識 シ ー ト ● テータ回線 ● 電話 ● CATV ●	15 テレ ビ 電 波 受 信 障 害 調 査 1 調 査 仕 様 図面に記載されていない事項は、すべて（一社）日本CATV技術協会の「建造物によるテレビ受信障害調査要領」及び「建造物によるテレビ受信障害調査要領（地上デジタル放送）」の最新版により調査を行い、同協会の技術審査を受けるものとする。 2 テレビ電波受信障害調査時期 ※ 事前 ● 中間 ※ 事後 3 受信する受信波及び地点数 中継局 波： 地点 中継局 波： 地点 4 報告書提出部数 ※ 事前 3部 ● 中間 部 ※ 事後 3部
	18 電 線 本 数 ・ 管 路 等 19 屋 外 露 出 配 管 の 仕 上 げ 20 露 出 配 管 の 塗 装 （ 付 属 品 含 む ） 21 波 付 硬 質 合 成 樹 脂 管 （ FEP ） 22 フラッシュプレート ^① の材質 23 カバープレート ^② の表示 24 プルボックスの塗装 25 耐 震 施 工	① 金 属 製 （ ス テ ン レ ス 、 新 金 属 も 含 む ） ② 樹 脂 製 シール等を貼付し、用途を表示する。 ステンレス製プルボックスの塗装 ※ 無（素地仕上） ● 有（指定色仕上） 設備機器の固定は、次に示す設計用地震力に耐える方法とする。ただし、重量1kN以下の一般機器について、製造者の指定する固定方法を採用する場合は、この限りではない。 1) 機器の据付け及び取付け 設計用水平地震力は、機器重量[kN]に、地域係数と次に示す設計用標準水平震度を乗じたものとする。 設計用標準水平震度		① 照 明 器 具 ② 一 般 照 明 の 照 度 測 定 3 非 常 用 照 明 の 照 度 測 定 4 照 明 制 御 の 照 度 測 定 等	1) LEDの光源色は別図面に指定がある場合を除き下記による。 LEDの光源色 (※ 昼白色 ● 温白色 ● 電球色) 測定結果を監督職員に提出する。（測定箇所等は、監督職員の指示による。） ※ 設置した各部屋2箇所以上 ● 明るさセンサーによる照明制御を行う部屋は照度測定を行い測定表を監督職員に提出する。なお、測定箇所は監督職員の指示による。 照度測定時期 100%点灯時（※ 夜間 ● 昼間） 調光制御点灯時（※ 夜間 ※ 昼間）	13 構 内 配 電 線 路 1 施 工 方 法 埋設深さ ※ GL-300以上、舗装のある場合は路盤下-300以上とする。 ● GL-600以上（● ● ● ） 2 地 中 箱 蓋の記号表示は鋳型流込み（鳥取県又は鳥取県章、及び用途を記入）とし、ハンドホール内のケーブル支持等はマンホールに準じて行う。アスファルト舗装面に使用するハンドホール及び鉄蓋はアスファルト舗装用とする。 3 標 識 シ ー ト ● テータ回線 ● 電話 ● CATV ●	① 機 器 取 付 高 機器取付高は下記を標準とする。ただし、天井高3m以上の場合及び機器の使用に支障がある場合は監督職員と協議する。					
	26 接 地 極	上層階の定義 2～6階建：最上階、7～9階建：上層2階、10～12階建：上層3階、13階以上：上層4階 中間階の定義 地階、1階を除く各階で上層階に該当しないもの 水槽類には燃料小出槽を含む 重要機器（● 配電盤 ● 非常用発電装置 ● 交換装置 ● 直流電源装置 ● UPS装置 ● 火災報知受信機 ● 中央監視制御装置 ● 通信総合盤 ● ） 2) 設計用鉛直地震力は設計用水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。 3) 設備機器の耐震支持及びアンカーボルトの許容耐力と選定については、「建築設備耐震設計・施工指針2014年版」（（一財）日本建築センター）を参考にする。		1 機 器 へ の 接 続 ※ 電動機などへの接続は本工事とする。 ● 別途工事	1) LEDの光源色は別図面に指定がある場合を除き下記による。 LEDの光源色 (※ 昼白色 ● 温白色 ● 電球色) 測定結果を監督職員に提出する。（測定箇所等は、監督職員の指示による。） ※ 設置した各部屋2箇所以上 ● 明るさセンサーによる照明制御を行う部屋は照度測定を行い測定表を監督職員に提出する。なお、測定箇所は監督職員の指示による。 照度測定時期 100%点灯時（※ 夜間 ● 昼間） 調光制御点灯時（※ 夜間 ※ 昼間）	13 構 内 配 電 線 路 1 施 工 方 法 埋設深さ ※ GL-300以上、舗装のある場合は路盤下-300以上とする。 ● GL-600以上（● ● ● ） 2 地 中 箱 蓋の記号表示は鋳型流込み（鳥取県又は鳥取県章、及び用途を記入）とし、ハンドホール内のケーブル支持等はマンホールに準じて行う。アスファルト舗装面に使用するハンドホール及び鉄蓋はアスファルト舗装用とする。 3 標 識 シ ー ト ● テータ回線 ● 電話 ● CATV ●	① 機 器 取 付 高 機器取付高は下記を標準とする。ただし、天井高3m以上の場合及び機器の使用に支障がある場合は監督職員と協議する。					
	27 屋 上 、 屋 側 の 支 持 金 物 等 28 結 露 防 止 29 アスベスト含有建材の処理	接地極の材料は次による。 接地の種類 記 号 接地抵抗値 接 地 極 ● 共 同 接 地 E _A E _D 10Ω以下 EB×3連-2組 ● 共 同 接 地 E _A E _C E _D 10Ω以下 EB×3連-2組 ● A 種 E _A 10Ω以下 EB×3連-2組 ● B 種 E _B Ω以下 EB×2連-2組 ● C 種 E _C 10Ω以下 EB×3連-2組 ● D 種 E _D 100Ω以下 EB×1 ● 高 圧 避 雷 器 E _{LH} 10Ω以下 EB×3連-2組 ● 交 換 機 用 E _t Ω以下 EB×3連-1組 ● 通 信 用 E _{At} 10Ω以下 EB×3連-2組 ● 通 信 用 E _{Dt} 及びE _{Da} 100Ω以下 EB×1 ● 電 話 引 込 口 の 保 安 器 用 E _{Lt} 100Ω以下 EB×1 ● 測 定 用 E _o - EB×1 (連結の場合、EBはD=14 L=1500 または W=40 L=1200とする) (E _o , E _{o1} , E _{o2} , E _{o3} , E _{o4} , E _{o5} の場合、EBはD=10 L=1000 または W=30 L=900 以上とする) (その他単独の場合、EBはD=14 L=1500 または W=40 L=1200とする) ステンレス製または鋼材に溶融亜鉛メッキを施したものとする。 外気に面する壁、スラブ等打ちこみとなる位置ボックスは保温、結露防止処理を行う。 公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）9章 環境配慮改修工事 1節 石綿含有建材の除去工事による。 処理を行うアスベスト含有建材の仕様等		1 交 換 装 置 局線応答方式（● 局線中継台方式 ● 分散中継台方式 ● ダイアリン方式 ● ダイレクトインダイヤル方式 ● ダイレクトインライン方式） 停電補償時間（分） ※ 本工事 ● 別途工事 ※ モジュラージャック ● 電話用プレート 内線 / / 回線 局線 / / 回線（現用/実装/容量） ● 一般電話機 台 ● 多機能電話機 台 ● ファクシミリ 台 ● デジタルコードレス電話機 台 ● IP電話機 台	1) LEDの光源色は別図面に指定がある場合を除き下記による。 LEDの光源色 (※ 昼白色 ● 温白色 ● 電球色) 測定結果を監督職員に提出する。（測定箇所等は、監督職員の指示による。） ※ 設置した各部屋2箇所以上 ● 明るさセンサーによる照明制御を行う部屋は照度測定を行い測定表を監督職員に提出する。なお、測定箇所は監督職員の指示による。 照度測定時期 100%点灯時（※ 夜間 ● 昼間） 調光制御点灯時（※ 夜間 ※ 昼間）	13 構 内 配 電 線 路 1 施 工 方 法 埋設深さ ※ GL-300以上、舗装のある場合は路盤下-300以上とする。 ● GL-600以上（● ● ● ） 2 地 中 箱 蓋の記号表示は鋳型流込み（鳥取県又は鳥取県章、及び用途を記入）とし、ハンドホール内のケーブル支持等はマンホールに準じて行う。アスファルト舗装面に使用するハンドホール及び鉄蓋はアスファルト舗装用とする。 3 標 識 シ ー ト ● テータ回線 ● 電話 ● CATV ●	① 機 器 取 付 高 機器取付高は下記を標準とする。ただし、天井高3m以上の場合及び機器の使用に支障がある場合は監督職員と協議する。					
	29 アスベスト含有建材の処理	処理を行うアスベスト含有建材の仕様等		1 交 換 装 置 局線応答方式（● 局線中継台方式 ● 分散中継台方式 ● ダイアリン方式 ● ダイレクトインダイヤル方式 ● ダイレクトインライン方式） 停電補償時間（分） ※ 本工事 ● 別途工事 ※ モジュラージャック ● 電話用プレート 内線 / / 回線 局線 / / 回線（現用/実装/容量） ● 一般電話機 台 ● 多機能電話機 台 ● ファクシミリ 台 ● デジタルコードレス電話機 台 ● IP電話機 台	1) LEDの光源色は別図面に指定がある場合を除き下記による。 LEDの光源色 (※ 昼白色 ● 温白色 ● 電球色) 測定結果を監督職員に提出する。（測定箇所等は、監督職員の指示による。） ※ 設置した各部屋2箇所以上 ● 明るさセンサーによる照明制御を行う部屋は照度測定を行い測定表を監督職員に提出する。なお、測定箇所は監督職員の指示による。 照度測定時期 100%点灯時（※ 夜間 ● 昼間） 調光制御点灯時（※ 夜間 ※ 昼間）	13 構 内 配 電 線 路 1 施 工 方 法 埋設深さ ※ GL-300以上、舗装のある場合は路盤下-300以上とする。 ● GL-600以上（● ● ● ） 2 地 中 箱 蓋の記号表示は鋳型流込み（鳥取県又は鳥取県章、及び用途を記入）とし、ハンドホール内のケーブル支持等はマンホールに準じて行う。アスファルト舗装面に使用するハンドホール及び鉄蓋はアスファルト舗装用とする。 3 標 識 シ ー ト ● テータ回線 ● 電話 ● CATV ●	① 機 器 取 付 高 機器取付高は下記を標準とする。ただし、天井高3m以上の場合及び機器の使用に支障がある場合は監督職員と協議する。					
	29 アスベスト含有建材の処理	処理を行うアスベスト含有建材の仕様等		1 交 換 装 置 局線応答方式（● 局線中継台方式 ● 分散中継台方式 ● ダイアリン方式 ● ダイレクトインダイヤル方式 ● ダイレクトインライン方式） 停電補償時間（分） ※ 本工事 ● 別途工事 ※ モジュラージャック ● 電話用プレート 内線 / / 回線 局線 / / 回線（現用/実装/容量） ● 一般電話機 台 ● 多機能電話機 台 ● ファクシミリ 台 ● デジタルコードレス電話機 台 ● IP電話機 台	1) LEDの光源色は別図面に指定がある場合を除き下記による。 LEDの光源色 (※ 昼白色 ● 温白色 ● 電球色) 測定結果を監督職員に提出する。（測定箇所等は、監督職員の指示による。） ※ 設置した各部屋2箇所以上 ● 明るさセンサーによる照明制御を行う部屋は照度測定を行い測定表を監督職員に提出する。なお、測定箇所は監督職員の指示による。 照度測定時期 100%点灯時（※ 夜間 ● 昼間） 調光制御点灯時（※ 夜間 ※ 昼間）	13 構 内 配 電 線 路 1 施 工 方 法 埋設深さ ※ GL-300以上、舗装のある場合は路盤下-300以上とする。 ● GL-600以上（● ● ● ） 2 地 中 箱 蓋の記号表示は鋳型流込み（鳥取県又は鳥取県章、及び用途を記入）とし、ハンドホール内のケーブル支持等はマンホールに準じて行う。アスファルト舗装面に使用するハンドホール及び鉄蓋はアスファルト舗装用とする。 3 標 識 シ ー ト ● テータ回線 ● 電話 ● CATV ●	① 機 器 取 付 高 機器取付高は下記を標準とする。ただし、天井高3m以上の場合及び機器の使用に支障がある場合は監督職員と協議する。					
	29 アスベスト含有建材の処理	処理を行うアスベスト含有建材の仕様等		1 交 換 装 置 局線応答方式（● 局線中継台方式 ● 分散中継台方式 ● ダイアリン方式 ● ダイレクトインダイヤル方式 ● ダイレクトインライン方式） 停電補償時間（分） ※ 本工事 ● 別途工事 ※ モジュラージャック ● 電話用プレート 内線 / / 回線 局線 / / 回線（現用/実装/容量） ● 一般電話機 台 ● 多機能電話機 台 ● ファクシミリ 台 ● デジタルコードレス電話機 台 ● IP電話機 台	1) LEDの光源色は別図面に指定がある場合を除き下記による。 LEDの光源色 (※ 昼白色 ● 温白色 ● 電球色) 測定結果を監督職員に提出する。（測定箇所等は、監督職員の指示による。） ※ 設置した各部屋2箇所以上 ● 明るさセンサーによる照明制御を行う部屋は照度測定を行い測定表を監督職員に提出する。なお、測定箇所は監督職員の指示による。 照度測定時期 100%点灯時（※ 夜間 ● 昼間） 調光制御点灯時（※ 夜間 ※ 昼間）	13 構 内 配 電 線 路 1 施 工 方 法 埋設深さ ※ GL-300以上、舗装のある場合は路盤下-300以上とする。 ● GL-600以上（● ● ● ） 2 地 中 箱 蓋の記号表示は鋳型流込み（鳥取県又は鳥取県章、及び用途を記入）とし、ハンドホール内のケーブル支持等はマンホールに準じて行う。アスファルト舗装面に使用するハンドホール及び鉄蓋はアスファルト舗装用とする。 3 標 識 シ ー ト ● テータ回線 ● 電話 ● CATV ●	① 機 器 取 付 高 機器取付高は下記を標準とする。ただし、天井高3m以上の場合及び機器の使用に支障がある場合は監督職員と協議する。					
	29 アスベスト含有建材の処理	処理を行うアスベスト含有建材の仕様等		1 交 換 装 置 局線応答方式（● 局線中継台方式 ● 分散中継台方式 ● ダイアリン方式 ● ダイレクトインダイヤル方式 ● ダイレクトインライン方式） 停電補償時間（分） ※ 本工事 ● 別途工事 ※ モジュラージャック ● 電話用プレート 内線 / / 回線 局線 / / 回線（現用/実装/容量） ● 一般電話機 台 ● 多機能電話機 台 ● ファクシミリ 台 ● デジタルコードレス電話機 台 ● IP電話機 台	1) LEDの光源色は別図面に指定がある場合を除き下記による。 LEDの光源色 (※ 昼白色 ● 温白色 ● 電球色) 測定結果を監督職員に提出する。（測定箇所等は、監督職員の指示による。） ※ 設置した各部屋2箇所以上 ● 明るさセンサーによる照明制御を行う部屋は照度測定を行い測定表を監督職員に提出する。なお、測定箇所は監督職員の指示による。 照度測定時期 100%点灯時（※ 夜間 ● 昼間） 調光制御点灯時（※ 夜間 ※ 昼間）	13 構 内 配 電 線 路 1 施 工 方 法 埋設深さ ※ GL-300以上、舗装のある場合は路盤下-300以上とする。 ● GL-600以上（● ● ● ） 2 地 中 箱 蓋の記号表示は鋳型流込み（鳥取県又は鳥取県章、及び用途を記入）とし、ハンドホール内のケーブル支持等はマンホールに準じて行う。アスファルト舗装面に使用するハンドホール及び鉄蓋はアスファルト舗装用とする。 3 標 識 シ ー ト ● テータ回線 ● 電話 ● CATV ●	① 機 器 取 付 高 機器取付高は下記を標準とする。ただし、天井高3m以上の場合及び機器の使用に支障がある場合は監督職員と協議する。					
	29 アスベスト含有建材の処理	処理を行うアスベスト含有建材の仕様等		1 交 換 装 置 局線応答方式（● 局線中継台方式 ● 分散中継台方式 ● ダイアリン方式 ● ダイレクトインダイヤル方式 ● ダイレクトインライン方式） 停電補償時間（分） ※ 本工事 ● 別途工事 ※ モジュラージャック ● 電話用プレート 内線 / / 回線 局線 / / 回線（現用/実装/容量） ● 一般電話機 台 ● 多機能電話機 台 ● ファクシミリ 台 ● デジタルコードレス電話機 台 ● IP電話機 台	1) LEDの光源色は別図面に指定がある場合を除き下記による。 LEDの光源色 (※ 昼白色 ● 温白色 ● 電球色) 測定結果を監督職員に提出する。（測定箇所等は、監督職員の指示による。） ※ 設置した各部屋2箇所以上 ● 明るさセンサーによる照明制御を行う部屋は照度測定を行い測定表を監督職員に提出する。なお、測定箇所は監督職員の指示による。 照度測定時期 100%点灯時（※ 夜間 ● 昼間） 調光制御点灯時（※ 夜間 ※ 昼間）	13 構 内 配 電 線 路 1 施 工 方 法 埋設深さ ※ GL-300以上、舗装のある場合は路盤下-300以上とする。 ● GL-600以上（● ● ● ） 2 地 中 箱 蓋の記号表示は鋳型流込み（鳥取県又は鳥取県章、及び用途を記入）とし、ハンドホール内のケーブル支持等はマンホールに準じて行う。アスファルト舗装面に使用するハンドホール及び鉄蓋はアスファルト舗装用とする。 3 標 識 シ ー ト ● テータ回線 ● 電話 ● CATV ●	① 機 器 取 付 高 機器取付高は下記を標準とする。ただし、天井高3m以上の場合及び機器の使用に支障がある場合は監督職員と協議する。					
	29 アスベスト含有建材の処理	処理を行うアスベスト含有建材の仕様等		1 交 換 装 置 局線応答方式（● 局線中継台方式 ● 分散中継台方式 ● ダイアリン方式 ● ダイレクトインダイヤル方式 ● ダイレクトインライン方式） 停電補償時間（分） ※ 本工事 ● 別途工事 ※ モジュラージャック ● 電話用プレート 内線 / / 回線 局線 / / 回線（現用/実装/容量） ● 一般電話機 台 ● 多機能電話機 台 ● ファクシミリ 台 ● デジタルコードレス電話機 台 ● IP電話機 台	1) LEDの光源色は別図面に指定がある場合を除き下記による。 LEDの光源色 (※ 昼白色 ● 温白色 ● 電球色) 測定結果を監督職員に提出する。（測定箇所等は、監督職員の指示による。） ※ 設置した各部屋2箇所以上 ● 明るさセンサーによる照明制御を行う部屋は照度測定を行い測定表を監督職員に提出する。なお、測定箇所は監督職員の指示による。 照度測定時期 100%点灯時（※ 夜間 ● 昼間） 調光制御点灯時（※ 夜間 ※ 昼間）	13 構 内 配 電 線 路 1 施 工 方 法 埋設深さ ※ GL-300以上、舗装のある場合は路盤下-300以上とする。 ● GL-600以上（● ● ● ） 2 地 中 箱 蓋の記号表示は鋳型流込み（鳥取県又は鳥取県章、及び用途を記入）とし、ハンドホール内のケーブル支持等はマンホールに準じて行う。アスファルト舗装面に使用するハンドホール及び鉄蓋はアスファルト舗装用とする。 3 標 識 シ ー ト ● テータ回線 ● 電話 ● CATV ●	① 機 器 取 付 高 機器取付高は下記を標準とする。ただし、天井高3m以上の場合及び機器の使用に支障がある場合は監督職員と協議する。					
29 アスベスト含有建材の処理	処理を行うアスベスト含有建材の仕様等	1 交 換 装 置 局線応答方式（● 局線中継台方式 ● 分散中継台方式 ● ダイアリン方式 ● ダイレクトインダイヤル方式 ● ダイレクトインライン方式） 停電補償時間（分） ※ 本工事 ● 別途工事 ※ モジュラージャック ● 電話用プレート 内線 / / 回線 局線 / / 回線（現用/実装/容量） ● 一般電話機 台 ● 多機能電話機 台 ● ファクシミリ 台 ● デジタルコードレス電話機 台 ● IP電話機 台	1) LEDの光源色は別図面に指定がある場合を除き下記による。 LEDの光源色 (※ 昼白色 ● 温白色 ● 電球色) 測定結果を監督職員に提出する。（測定箇所等は、監督職員の指示による。） ※ 設置した各部屋2箇所以上 ● 明るさセンサーによる照明制御を行う部屋は照度測定を行い測定表を監督職員に提出する。なお、測定箇所は監督職員の指示による。 照度測定時期 100%点灯時（※ 夜間 ● 昼間） 調光制御点灯時（※ 夜間 ※ 昼間）	13 構 内 配 電 線 路 1 施 工 方 法 埋設深さ ※ GL-300以上、舗装のある場合は路盤下-300以上とする。 ● GL-600以上（● ● ● ） 2 地 中 箱 蓋の記号表示は鋳型流込み（鳥取県又は鳥取県章、及び用途を記入）とし、ハンドホール内のケーブル支持等はマンホールに準じて行う。アスファルト舗装面に使用するハンドホール及び鉄蓋はアスファルト舗装用とする。 3 標 識 シ ー ト ● テータ回線 ● 電話 ● CATV ●	① 機 器 取 付 高 機器取付高は下記を標準とする。ただし、天井高3m以上の場合及び機器の使用に支障がある場合は監督職員と協議する。							
29 アスベスト含有建材の処理	処理を行うアスベスト含有建材の仕様等	1 交 換 装 置 局線応答方式（● 局線中継台方式 ● 分散中継台方式 ● ダイアリン方式 ● ダイレクトインダイヤル方式 ● ダイレクトインライン方式） 停電補償時間（分） ※ 本工事 ● 別途工事 ※ モジュラージャック ● 電話用プレート 内線 / / 回線 局線 / / 回線（現用/実装/容量） ● 一般電話機 台 ● 多機能電話機 台 ● ファクシミリ 台 ● デジタルコードレス電話機 台 ● IP電話機 台	1) LEDの光源色は別図面に指定がある場合を除き下記による。 LEDの光源色 (※ 昼白色 ● 温白色 ● 電球色) 測定結果を監督職員に提出する。（測定箇所等は、監督職員の指示による。） ※ 設置した各部屋2箇所以上 ● 明るさセンサーによる照明制御を行う部屋は照度測定を行い測定表を監督職員に提出する。なお、測定箇所は監督職員の指示による。 照度測定時期 100%点灯時（※ 夜間 ● 昼間） 調光制御点灯時（※ 夜間 ※ 昼間）	13 構 内 配 電 線 路 1 施 工 方 法 埋設深さ ※ GL-300以上、舗装のある場合は路盤下-300以上とする。 ● GL-600以上（● ● ● ） 2 地 中 箱 蓋の記号表示は鋳型流込み（鳥取県又は鳥取県章、及び用途を記入）とし、ハンドホール内のケーブル支持等はマンホールに準じて行う。アスファルト舗装面に使用するハンドホール及び鉄蓋はアスファルト舗装用とする。 3 標 識 シ ー ト ● テータ回線 ● 電話 ● CATV ●	① 機 器 取 付 高 機器取付高は下記を標準とする。ただし、天井高3m以上の場合及び機器の使用に支障がある場合は監督職員と協議する。							
29 アスベスト含有建材の処理	処理を行うアスベスト含有建材の仕様等	1 交 換 装 置 局線応答方式（● 局線中継台方式 ● 分散中継台方式 ● ダイアリン方式 ● ダイレクトインダイヤル方式 ● ダイレクトインライン方式） 停電補償時間（分） ※ 本工事 ● 別途工事 ※ モジュラージャック ● 電話用プレート 内線 / / 回線 局線 / / 回線（現用/実装/容量） ● 一般電話機 台 ● 多機能電話機 台 ● ファクシミリ 台 ● デジタルコードレス電話機 台 ● IP電話機 台	1) LEDの光源色は別図面に指定がある場合を除き下記による。 LEDの光源色 (※ 昼白色 ● 温白色 ● 電球色) 測定結果を監督職員に提出する。（測定箇所等は、監督職員の指示による。） ※ 設置した各部屋2箇所以上 ● 明るさセンサーによる照明制御を行う部屋は照度測定を行い測定表を監督職員に提出する。なお、測定箇所は監督職員の指示による。 照度測定時期 100%点灯時（※ 夜間 ● 昼間） 調光制御点灯時（※ 夜間 ※ 昼間）	13 構 内 配 電 線 路 1 施 工 方 法 埋設深さ ※ GL-300以上、舗装のある場合は路盤下-300以上とする。 ● GL-600以上（● ● ● ） 2 地 中 箱 蓋の記号表示は鋳型流込み（鳥取県又は鳥取県章、及び用途を記入）とし、ハンドホール内のケーブル支持等はマンホールに準じて行う。アスファルト舗装面に使用するハンドホール及び鉄蓋はアスファルト舗装用とする。 3 標 識 シ ー ト ● テータ回線 ● 電話 ● CATV ●	① 機 器 取 付 高 機器取付高は下記を標準とする。ただし、天井高3m以上の場合及び機器の使用に支障がある場合は監督職員と協議する。							
29 アスベスト含有建材の処理	処理を行うアスベスト含有建材の仕様等	1 交 換 装 置 局線応答方式（● 局線中継台方式 ● 分散中継台方式 ● ダイアリン方式 ● ダイレクトインダイヤル方式 ● ダイレクトインライン方式） 停電補償時間（分） ※ 本工事 ● 別途工事 ※ モジュラージャック ● 電話用プレート 内線 / / 回線 局線 / / 回線（現用/実装/容量） ● 一般電話機 台 ● 多機能電話機 台 ● ファクシミリ 台 ● デジタルコードレス電話機 台 ● IP電話機 台	1) LEDの光源色は別図面に指定がある場合を除き下記による。 LEDの光源色 (※ 昼白色 ● 温白色 ● 電球色) 測定結果を監督職員に提出する。（測定箇所等は、監督職員の指示による。） ※ 設置した各部屋2箇所以上 ● 明るさセンサーによる照明制御を行う部屋は照度測定を行い測定表を監督職員に提出する。なお、測定箇所は監督職員の指示による。 照度測定時期 100%点灯時（※ 夜間 ● 昼間） 調光制御点灯時（※ 夜間 ※ 昼間）	13 構 内 配 電 線 路 1 施 工 方 法 埋設深さ ※ GL-300以上、舗装のある場合は路盤下-300以上とする。 ● GL-600以上（● ● ● ） 2 地 中 箱 蓋の記号表示は鋳型流込み（鳥取県又は鳥取県章、及び用途を記入）とし、ハンドホール内のケーブル支持等はマンホールに準じて行う。アスファルト舗装面に使用するハンドホール及び鉄蓋はアスファルト舗装用とする。 3 標 識 シ ー ト ● テータ回線 ● 電話 ● CATV ●	① 機 器 取 付 高 機器取付高は下記を標準とする。ただし、天井高3m以上の場合及び機器の使用に支障がある場合は監督職員と協議する。							
29 アスベスト含有建材の処理	処理を行うアスベスト含有建材の仕様等	1 交 換 装 置 局線応答方式（● 局線中継台方式 ● 分散中継台方式 ● ダイアリン方式 ● ダイレクトインダイヤル方式 ● ダイレクトインライン方式） 停電補償時間（分） ※ 本工事 ● 別途工事 ※ モジュラージャック ● 電話用プレート 内線 / / 回線 局線 / / 回線（現用/実装/容量） ● 一般電話機 台 ● 多機能電話機 台 ● ファクシミリ 台 ● デジタルコードレス電話機 台 ● IP電話機 台	1) LEDの光源色は別図面に指定がある場合を除き下記による。 LEDの光源色 (※ 昼白色 ● 温白色 ● 電球色) 測定結果を監督職員に提出する。（測定箇所等は、監督職員の指示による。） ※ 設置した各部屋2箇所以上 ● 明るさセンサーによる照明制御を行う部屋は照度測定を行い測定表を監督職員に提出する。なお、測定箇所は監督職員の指示による。 照度測定時期 100%点灯時（※ 夜間 ● 昼間） 調光制御点灯時（※ 夜間 ※ 昼間）	13 構 内 配 電 線 路 1 施 工 方 法 埋設深さ ※ GL-300以上、舗装のある場合は路盤下-300以上とする。 ● GL-600以上（● ● ● ） 2 地 中 箱 蓋の記号表示は鋳型流込み（鳥取県又は鳥取県章、及び用途を記入）とし、ハンドホール内のケーブル支持等はマンホールに準じて行う。アスファルト舗装面に使用するハンドホール及び鉄蓋はアスファルト舗装用とする。 3 標 識 シ ー ト ● テータ回線 ● 電話 ● CATV ●	① 機 器 取 付 高 機器取付高は下記を標準とする。ただし、天井高3m以上の場合及び機器の使用に支障がある場合は監督職員と協議する。							
29 アスベスト含有建材の処理	処理を行うアスベスト含有建材の仕様等	1 交 換 装 置 局線応答方式（● 局線中継台方式 ● 分散中継台方式 ● ダイアリン方式 ● ダイレクトインダイヤル方式 ● ダイレクトインライン方式） 停電補償時間（分） ※ 本工事 ● 別途工事 ※ モジュラージャック ● 電話用プレート 内線 / / 回線 局線 / / 回線（現用/実装/容量） ● 一般電話機 台 ● 多機能電話機 台 ● ファクシミリ 台 ● デジタルコードレス電話機 台 ● IP電話機 台	1) LEDの光源色は別図面に指定がある場合を除き下記による。 LEDの光源色 (※ 昼白色 ● 温白色 ● 電球色) 測定結果を監督職員に提出する。（測定箇所等は、監督職員の指示による。） ※ 設置した各部屋2箇所以上 ● 明るさセンサーによる照明制御を行う部屋は照度測定を行い測定表を監督職員に提出する。なお、測定箇所は監督職員の指示による。 照度測定時期 100%点灯時（※ 夜間 ● 昼間） 調光制御点灯時（※ 夜間 ※ 昼間）	13 構 内 配 電 線 路 1 施 工 方 法 埋設深さ ※ GL-300以上、舗装のある場合は路盤下-300以上とする。 ● GL-600以上（● ● ● ） 2 地 中 箱 蓋の記号表示は鋳型流込み（鳥取県又は鳥取県章、及び用途を記入）とし、ハンドホール内のケーブル支持等はマンホールに準じて行う。アスファルト舗装面に使用するハンドホール及び鉄蓋はアスファルト舗装用とする。 3 標 識 シ ー ト ● テータ回線 ● 電話 ● CATV ●	① 機 器 取 付 高 機器取付高は下記を標準とする。ただし、天井高3m以上の場合及び機器の使用に支障がある場合は監督職員と協議する。							
29 アスベスト含有建材の処理	処理を行うアスベスト含有建材の仕様等	1 交 換 装 置 局線応答方式（● 局線中継台方式 ● 分散中継台方式 ● ダイアリン方式 ● ダイレクトインダイヤル方式 ● ダイレクトインライン方式） 停電補償時間（分） ※ 本工事 ● 別途工事 ※ モジュラージャック ● 電話用プレート 内線 / / 回線 局線 / / 回線（現用/実装/容量） ● 一般電話機 台 ● 多機能電話機 台 ● ファクシミリ 台 ● デジタルコードレス電話機 台 ● IP電話機 台	1) LEDの光源色は別図面に指定がある場合を除き下記による。 LEDの光源色 (※ 昼白色 ● 温白色 ● 電球色) 測定結果を監督職員に提出する。（測定箇所等は、監督職員の指示による。） ※ 設置した各部屋2箇所以上 ● 明るさセンサーによる照明制御を行う部屋は照度測定を行い測定表を監督職員に提出する。なお、測定箇所は監督職員の指示による。 照度測定時期 100%点灯時（※ 夜間 ● 昼間） 調光制御点灯時（※ 夜間 ※ 昼間）	13 構 内 配 電 線 路 1 施 工 方 法 埋設深さ ※ GL-300以上、舗装のある場合は路盤下-300以上とする。 ● GL-600以上（● ● ● ） 2 地 中 箱 蓋の記号表示は鋳型流込み（鳥取県又は鳥取県章、及び用途を記入）とし、ハンドホール内のケーブル支持等はマンホールに準じて行う。アスファルト舗装面に使用するハンドホール及び鉄蓋はアスファルト舗装用とする。 3 標 識 シ ー ト ● テータ回線 ● 電話 ● CATV ●	① 機 器 取 付 高 機器取付高は下記を標準とする。ただし、天井高3m以上の場合及び機器の使用に支障がある場合は監督職員と協議する。							
29 アスベスト含有建材の処理	処理を行うアスベスト含有建材の仕様等	1 交 換 装 置 局線応答方式（● 局線中継台方式 ● 分散中継台方式 ● ダイアリン方式 ● ダイレクトインダイヤル方式 ● ダイレクトインライン方式） 停電補償時間（分） ※ 本工事 ● 別途工事 ※ モジュラージャック ● 電話用プレート 内線 / / 回線 局線 / / 回線（現用/実装/容量） ● 一般電話機 台 ● 多機能電話機 台 ● ファクシミリ 台 ● デジタルコードレス電話機 台 ● IP電話機 台	1) LEDの光源色は別図面に指定がある場合を除き下記による。 LEDの光源色 (※ 昼白色 ● 温白色 ● 電球色) 測定結果を監督職員に提出する。（測定箇所等は、監督職員の指示による。）									



凡例

記号	名称	摘要
■	分電盤	分電盤単線結線図参照 撤去・新設
■改	分電盤	分電盤単線結線図参照 改造
■	分電盤	既設のまま
○	区画貫通補修	

特記なき配管配線は下記による。

EM-EEF 2.0-3C	天井内配線	新設
既設配管配線		既設のまま



〒689-1115 鳥取市紙子谷10番地4 TEL:0857-51-8240 FAX:0857-53-4669

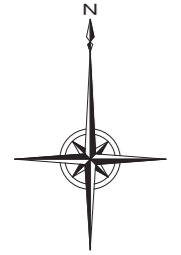
有限会社 福田設備設計

管理建築士 福田洋之
 一級建築士 第376077号
 担当 西尾圭介
 建築設備士 第27E1-0484KS号

CHECK 福田
 DRAW 西尾

県立白兔養護学校管理教室棟ほかトイレ改修工事(設備)(第一期)
 電灯幹線・コンセント設備 1階 配線図

SCALE 1/150
 No E-04
 DATE



X3 X4 X5 X6 X7 X8 X9 X10 X11 X12 X13 X14 X15

11,850 5,900 53,200 35,450



Y18
13,700
Y17
36,400
Y16
14,000
Y15
8,700
Y14
Y13
Y12

凡例		
記号	名称	摘要
■	分電盤	分電盤単線結線図参照 改造
⊙	区画貫通補修	

特記なき配管配線は下記による。

EM-EEF 2.0-3C	天井内配線	新設
既設配管配線		既設のまま



有限会社 福田設備設計

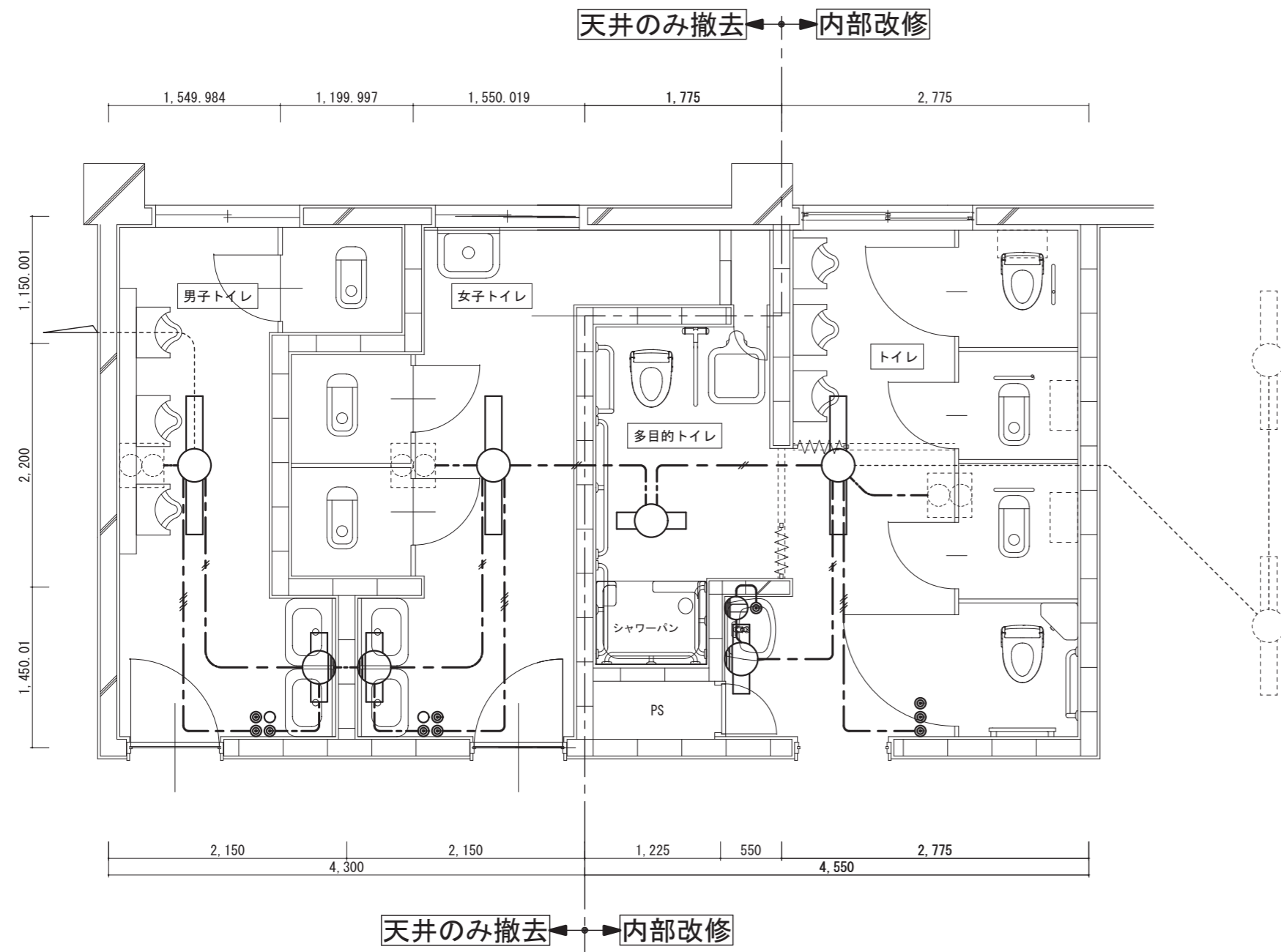
〒689-1115 鳥取市紙子谷10番地4 TEL:0857-51-8240 FAX:0857-53-4669

管理建築士 福田洋之
 一級建築士 第376077号
 担当者 西尾圭介
 建築設備士 第27E1-0484KS号

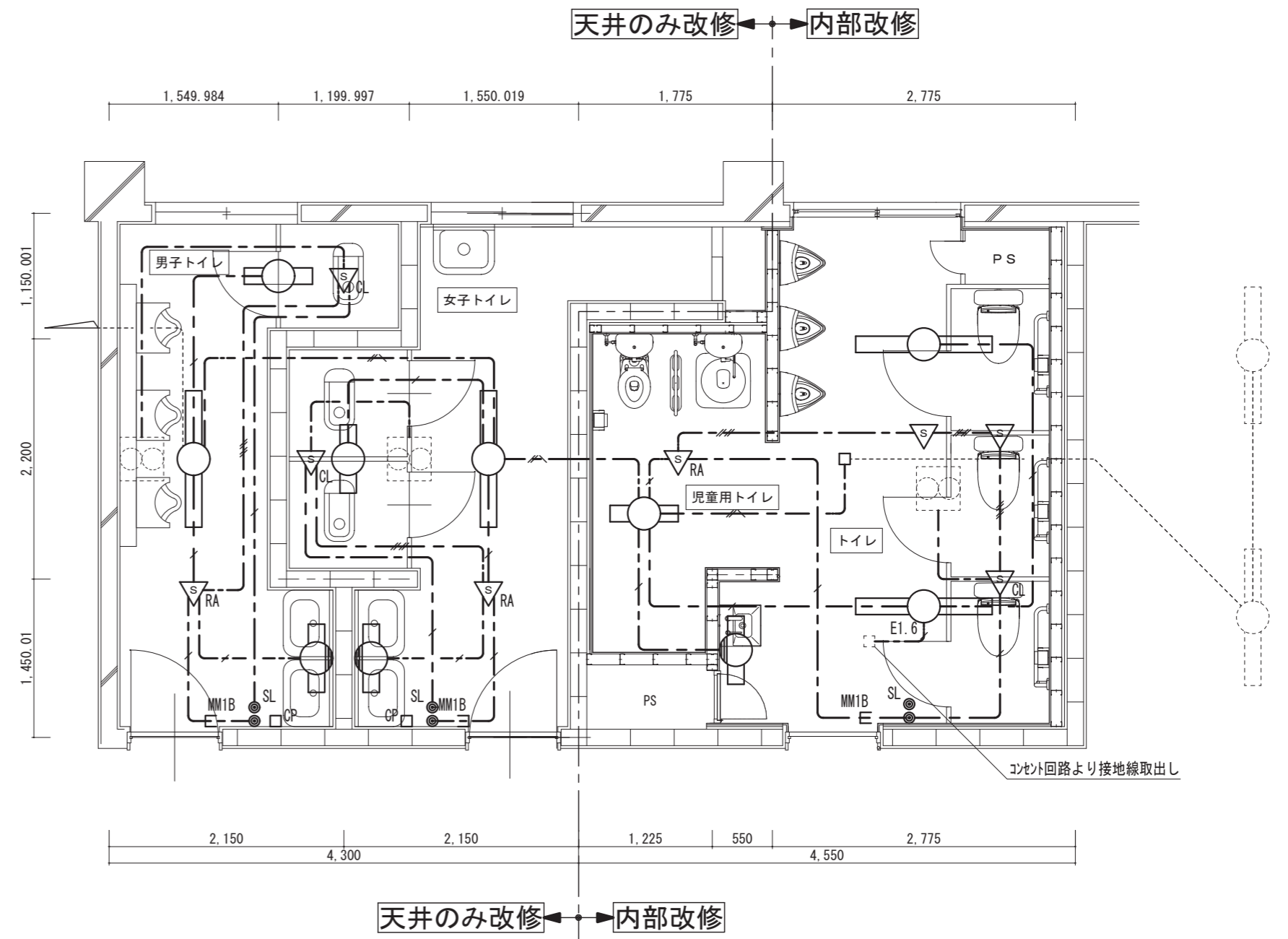
CHECK 福田
 DRAW 西尾

県立白兔養護学校管理教室棟ほかトイレ改修工事(設備)(第一期)
 電灯幹線・コンセント設備 2階 配線図

SCALE 1/150
 No E-05
 DATE



【改修前管理教室棟 1階トイレ S=1/50】



【改修後管理教室棟 1階トイレ S=1/50】

女子トイレ	
FL 40W-1 直付 × 1	
FL 20W-1 壁付 × 1	

男子トイレ	
FL 40W-1 直付 × 1	
FL 20W-1 壁付 × 1	

トイレ	
FL 40W-1 直付 × 1	
FL 20W-1 直付 × 1	
FL 20W-1 壁付 × 1	

凡 例

記 号	名 称	摘 要
	分電盤	既設のまま
	照明器具	照明器具リスト参照 撤去処分
	照明器具	照明器具リスト参照 撤去処分
	埋込スイッチ	1P 15A×1 撤去処分
	パイロットランプ	1P 15A×1 撤去処分
	照明器具	既設のまま
	換気扇	機械設備図参照

特記なき配管配線は下記による。

	VVF 1.6-2C	天井内配線	撤去処分
	VVF 1.6-2C×2	天井内配線	撤去処分
	VVF 2.0-2C	天井内配線	撤去処分
	既設配管配線		既設のまま

女子トイレ	
LSS9-2-30 × 1	
LSS9-4-48 × 1	
LBF3MP/RP-2-06 × 1	

男子トイレ	
LSS9-2-30 × 1	
LSS9-4-37 × 1	
LBF3MP/RP-2-06 × 1	

トイレ	
LSS9-2-30 × 1	
LSS9-4-37 × 2	
LBF3MP/RP-2-06 × 1	

凡 例

記 号	名 称	摘 要
	分電盤	既設のまま
	照明器具	照明器具リスト参照 新設
	照明器具	照明器具リスト参照 新設
	熱線式センサースイッチ	親機 広角検知 8A 明るさセンサー式 新設
	熱線式センサースイッチ	子機 広角検知 新設
	熱線式センサースイッチ	子機 換気扇連動式 新設
	センサースイッチ用操作ユニット	2回路用 新設
	カバープレート	金属プレート 新設
	照明器具	既設のまま
	換気扇	機械設備図参照

特記なき配管配線は下記による。

	EM-EFF 1.6-2C	天井内配線	新設
	EM-EFF 1.6-3C	天井内配線	新設
	EM-EFF 1.6-2C×2	天井内配線	新設
	EM-EFF 2.0-3C	天井内配線	新設
	MM1B メタルモール B型	立下げ	新設
	既設配管配線		既設のまま

※ケーブル配線において、新設壁内はPF管にて保護する



有限会社 福田設備設計

〒689-1115 鳥取県紙子谷10番地4 TEL:0857-51-8240 FAX:0857-53-4669

管理建築士 第376077号 福田洋之
 一級建築士 第27E-0484KS号 西尾圭介
 担当 者

CHECK DRAW
 福田 西尾

県立白兔養護学校管理教室棟ほかトイレ改修工事(設備)(第一期)
 電灯設備 管理教室棟 1階トイレ 配線図

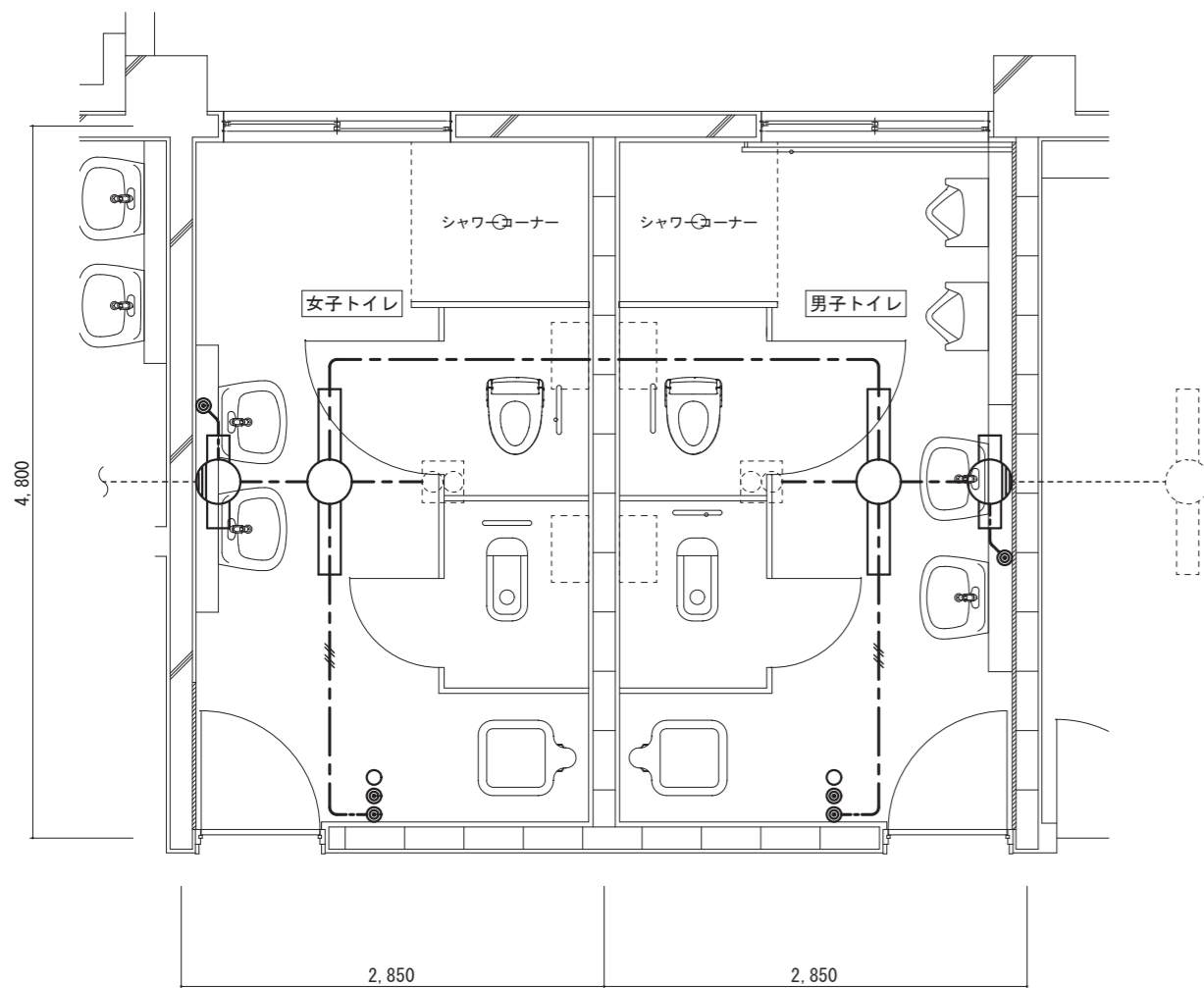
SCALE

1/50

No

E-06

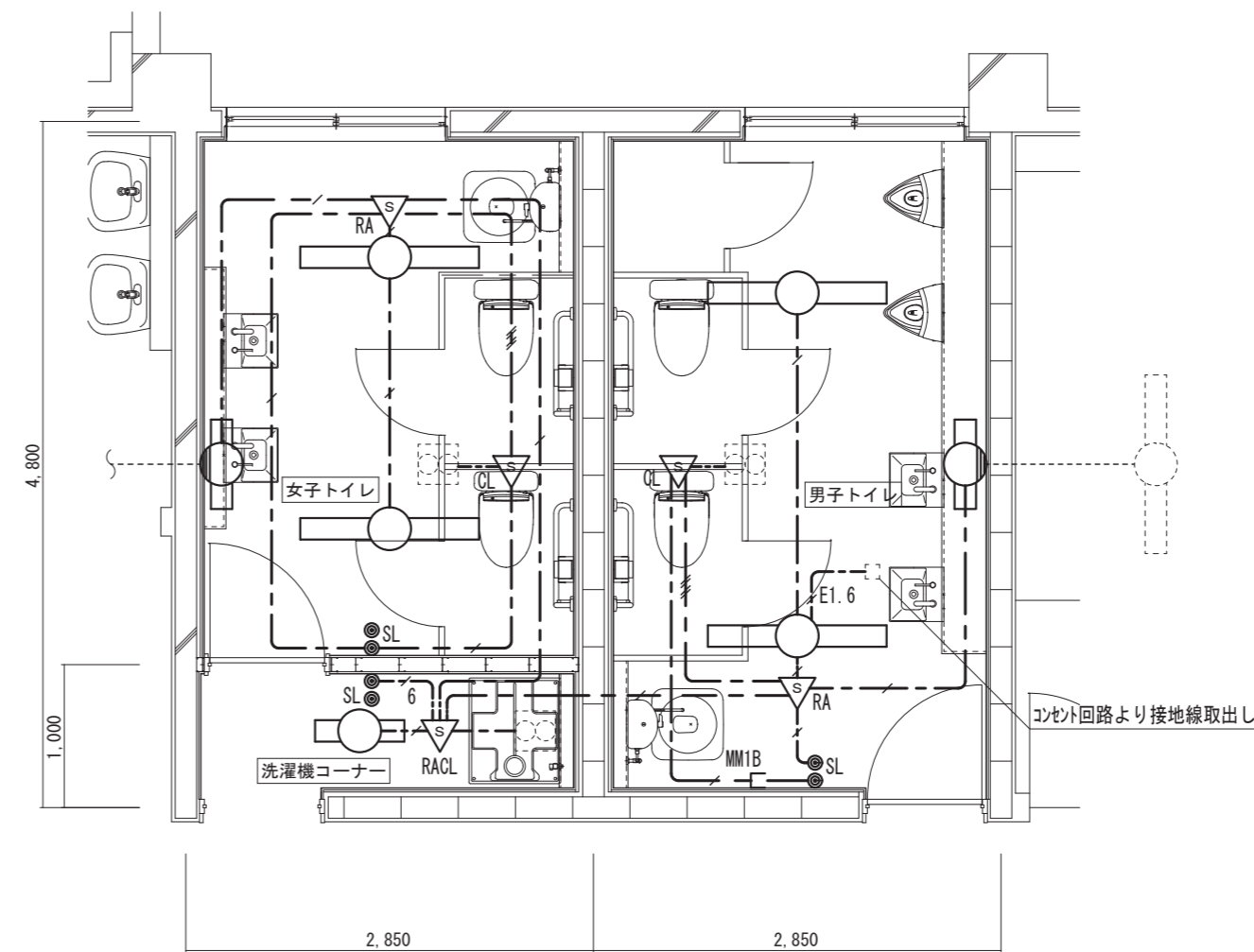
DATE



女子トイレ
FL 40W-1 直付 × 1
FL 20W-1 壁付 × 1

男子トイレ
FL 40W-1 直付 × 1
FL 20W-1 壁付 × 1

【改修前管理教室棟 2階トイレ S=1/50】



女子トイレ
LSS9-4-37 × 2
LBF3MP/PP-2-06 × 1

男子トイレ
LSS9-4-37 × 2
LBF3MP/PP-2-06 × 1

洗濯コーナー
LSS9-2-30 × 1

【改修後管理教室棟 2階トイレ S=1/50】

凡 例

記号	名称	摘要
	分電盤	既設のまま
	照明器具	照明器具リスト参照 撤去処分
	照明器具	照明器具リスト参照 撤去処分
	埋込スイッチ	1P 15A×1 撤去処分
	パイロットランプ	1P 15A×1 撤去処分
	照明器具	既設のまま
	換気扇	機械設備図参照

特記なき配管配線は下記による。

	VVF 1.6-2C	天井内配線	撤去処分
	VVF 1.6-2C×2	天井内配線	撤去処分
	既設配管配線		既設のまま

凡 例

記号	名称	摘要
	分電盤	既設のまま
	照明器具	照明器具リスト参照 新設
	照明器具	照明器具リスト参照 新設
	熱線式センサースイッチ	親機 広角検知 8A 明るさセンサー式 新設
	熱線式センサースイッチ	親機 換気扇連動 1.2A 明るさセンサー式 新設
	熱線式センサースイッチ	子機 広角検知 新設
	熱線式センサースイッチ	子機 換気扇連動式 新設
	センサースイッチ用操作ユニット	2回路用 新設
	照明器具	既設のまま
	換気扇	機械設備図参照

特記なき配管配線は下記による。

	EM-EFF 1.6-2C	天井内配線	新設
	EM-EFF 1.6-3C	天井内配線	新設
	EM-EFF 1.6-2C×2	天井内配線	新設
	EM-EFF 1.6-3C×2	天井内配線	新設
	6 MMTB メタルモール B型	立下げ	新設
	既設配管配線		既設のまま

※ケーブル配線において、新設室内はPF管にて保護する



有限会社 福田設備設計

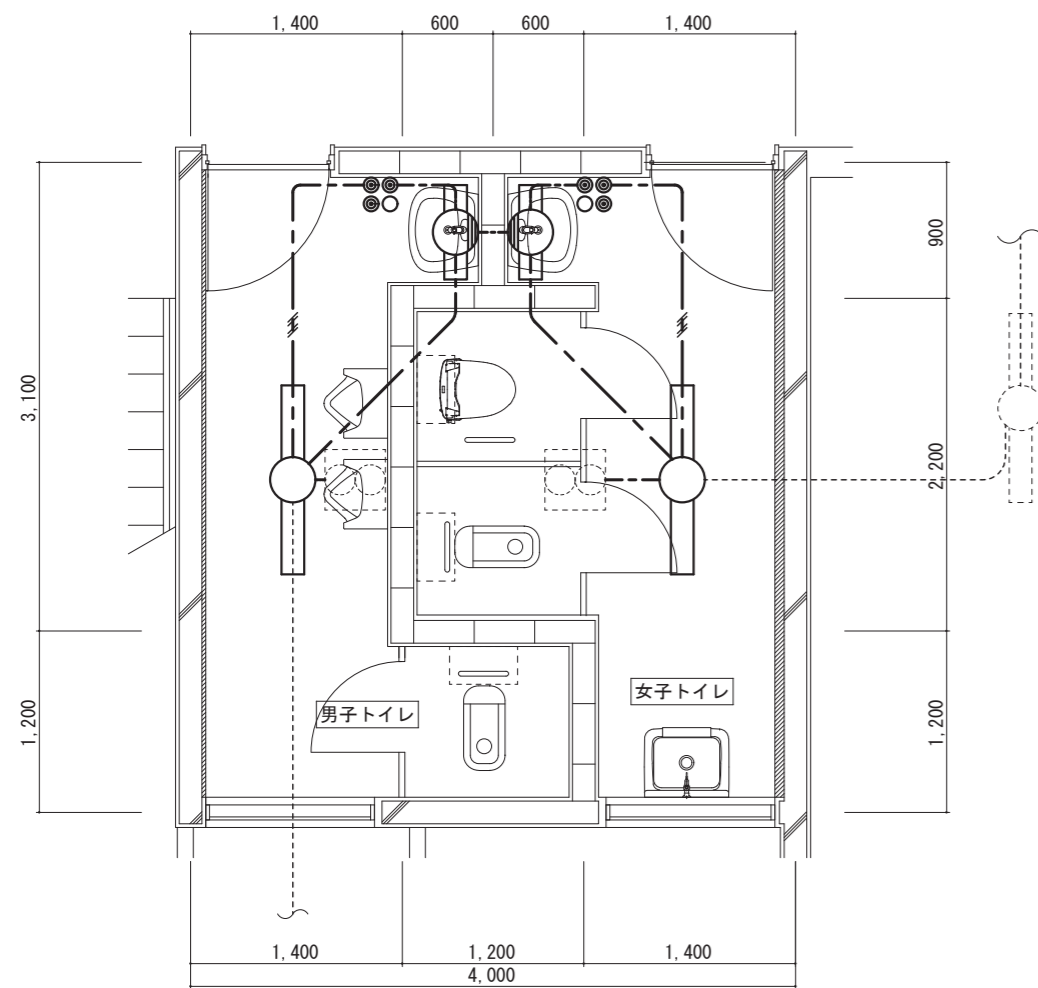
〒689-1115 鳥取市紙子谷10番地4 TEL:0857-51-8240 FAX:0857-53-4669

管理建築士 福田洋之
一級建築士 第376077号
担当者 西尾圭介
建築設備士 第27E1-0484KS号

CHECK DRAW
福田 西尾

県立白兎養護学校管理教室棟ほかトイレ改修工事(設備)(第一期)
電灯設備 管理教室棟 2階トイレ 配線図

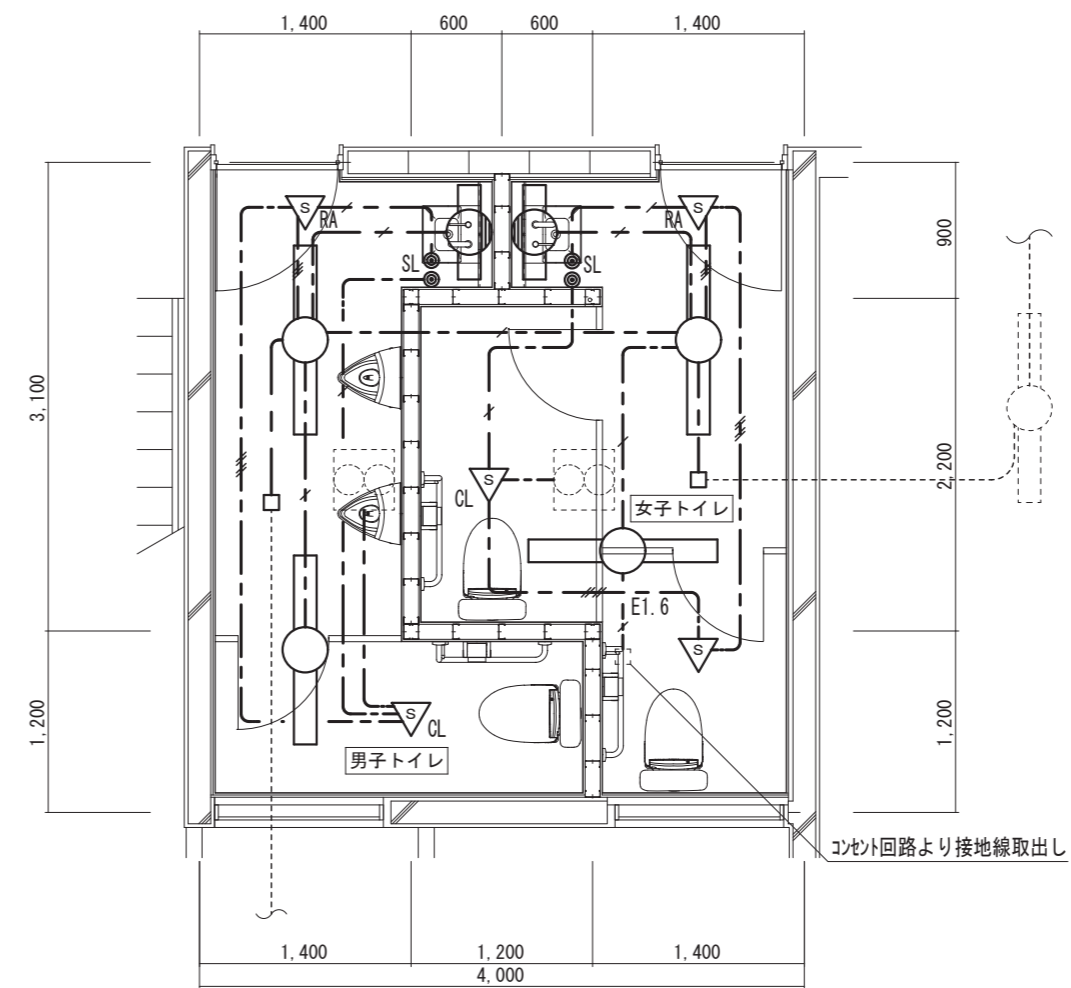
SCALE No
1/50 E-07
DATE



【改修前小学部棟 1階トイレ S=1/50】

女子トイレ
FL 40W-1 直付 × 1
FL 20W-1 壁付 × 1

男子トイレ
FL 40W-1 直付 × 1
FL 20W-1 壁付 × 1



【改修後小学部棟 1階トイレ S=1/50】

女子トイレ
LSS9-4-37 × 2
LBF3MP/RP-2-06 × 1

男子トイレ
LSS9-4-37 × 2
LBF3MP/RP-2-06 × 1

凡 例

記 号	名 称	摘 要
	分電盤	既設のまま
	照明器具	照明器具リスト参照 撤去処分
	照明器具	照明器具リスト参照 撤去処分
	埋込スイッチ	1P 15A×1 撤去処分
	パイロットランプ	1P 15A×1 撤去処分
	照明器具	既設のまま
	換気扇	機械設備図参照

特記なき配管配線は下記による。

	VVF 1.6-2C	天井内配線	撤去処分
	VVF 1.6-2C×2	天井内配線	撤去処分
	既設配管配線		既設のまま

凡 例

記 号	名 称	摘 要
	分電盤	既設のまま
	照明器具	照明器具リスト参照 新設
	照明器具	照明器具リスト参照 新設
	熱線式センサースイッチ	親機 広角検知 8A 明るさセンサー式 新設
	熱線式センサースイッチ	子機 広角検知 新設
	熱線式センサースイッチ	子機 換気扇連動式 新設
	センサースイッチ用操作ユニット	2回路用 新設
	照明器具	既設のまま
	換気扇	機械設備図参照

特記なき配管配線は下記による。

	EM-EEF 1.6-2C	天井内配線	新設
	EM-EEF 1.6-3C	天井内配線	新設
	EM-EEF 1.6-2C×2	天井内配線	新設
	既設配管配線		既設のまま

※ケーブル配線において、新設壁内はPF管にて保護する



有限会社 福田設備設計

〒689-1115 鳥取市紙子谷10番地4 TEL:0857-51-8240 FAX:0857-53-4669

管理建築士 福田洋之
 一級建築士 第376077号
 担当者 西尾圭介
 建築設備士 第27E1-0484KS号

CHECK DRAW
 福田 西尾

県立白兎養護学校管理教室棟ほかトイレ改修工事(設備)(第一期)
 電灯設備 小学部棟 1階トイレ 配線図

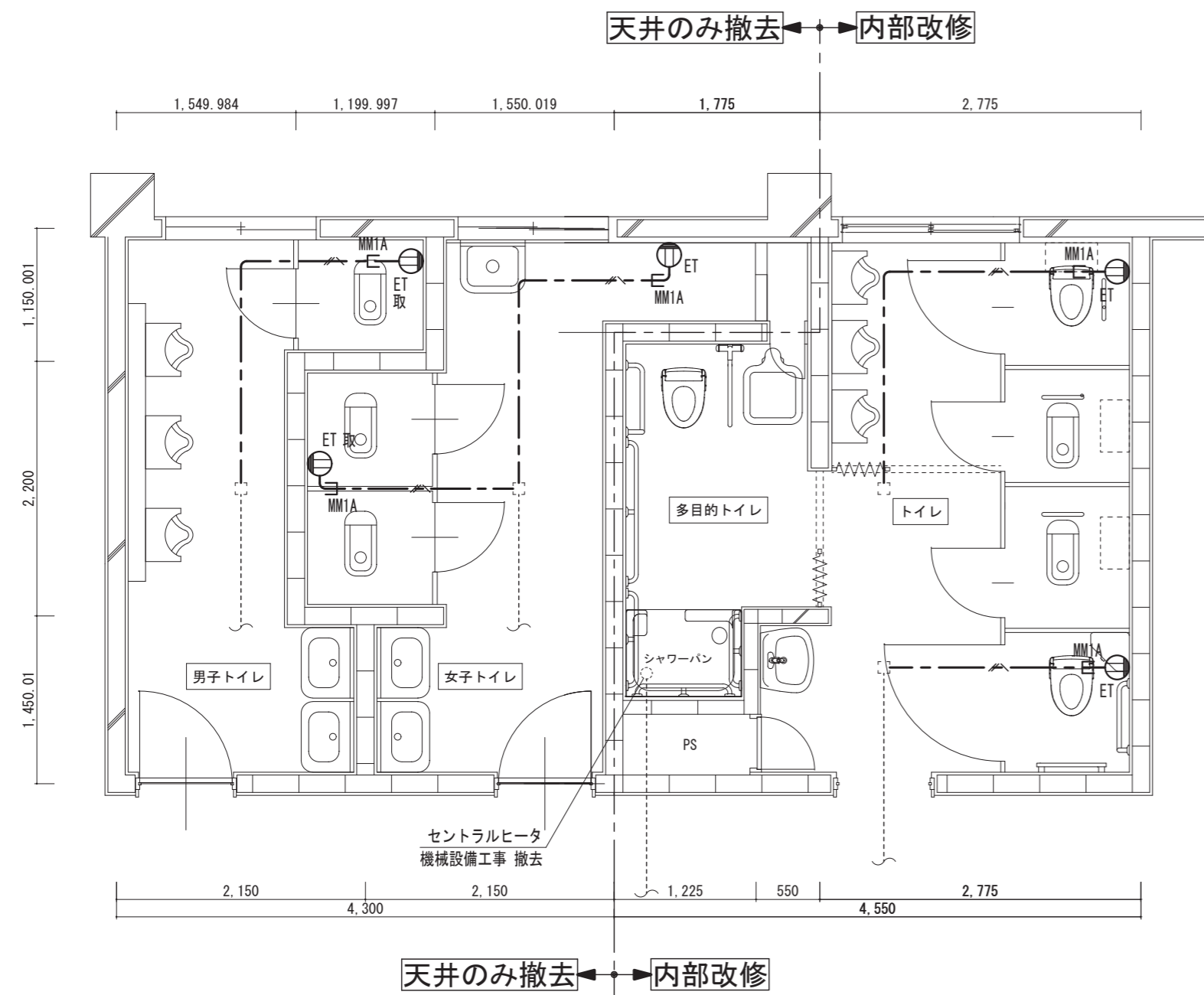
SCALE

1/50

No

E-08

DATE



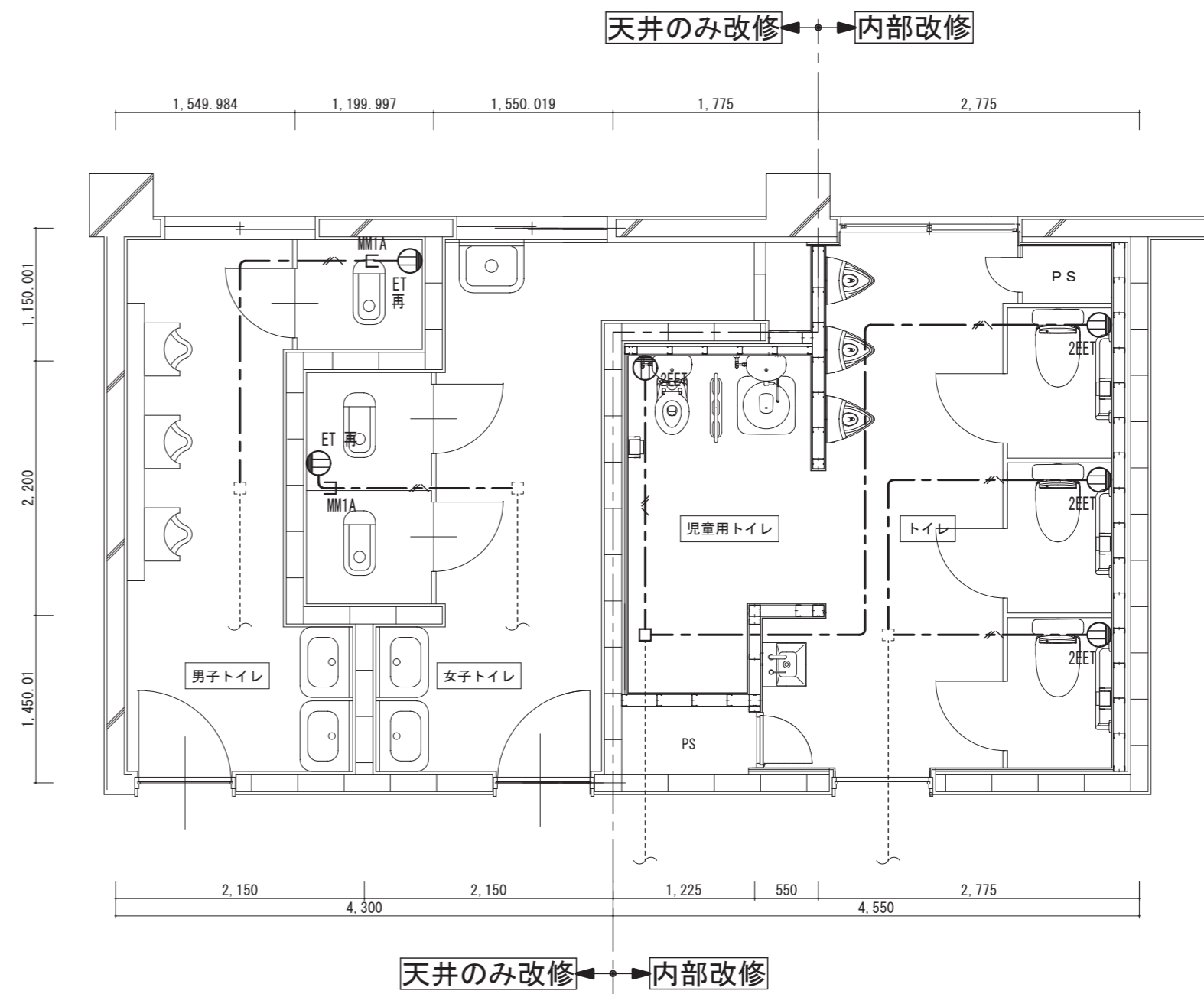
【改修前管理教室棟1階トイレ S=1/50】

凡例

記号	名称	摘要
⊕ET	埋込コンセント	2P 15A×1 ET 撤去処分
⊖ET取	埋込コンセント	2P 15A×1 ET 取外し
□	位置ボックス	既設のまま

特記なき配管配線は下記による。

---	VVF 2.0-3C	天井内配線	撤去処分
---	MMTA	メタルモール A型	立下げ 撤去処分
---	---	既設配管配線	既設のまま



【改修後管理教室棟1階トイレ S=1/50】

凡例

記号	名称	摘要
⊕2EET	埋込コンセント	2P 15A, E×2 ET 金属プレート 新設
⊖ET再	埋込コンセント	2P 15A×1 ET 再取付
□	アウトレットボックス	D44 新設
□	位置ボックス	既設のまま

特記なき配管配線は下記による。

---	EM-EFF 2.0-3C	天井内配線	新設
---	MMTA	メタルモール A型	立下げ 新設
---	---	既設配管配線	既設のまま

※ケーブル配線において、新設壁内はPF管にて保護する



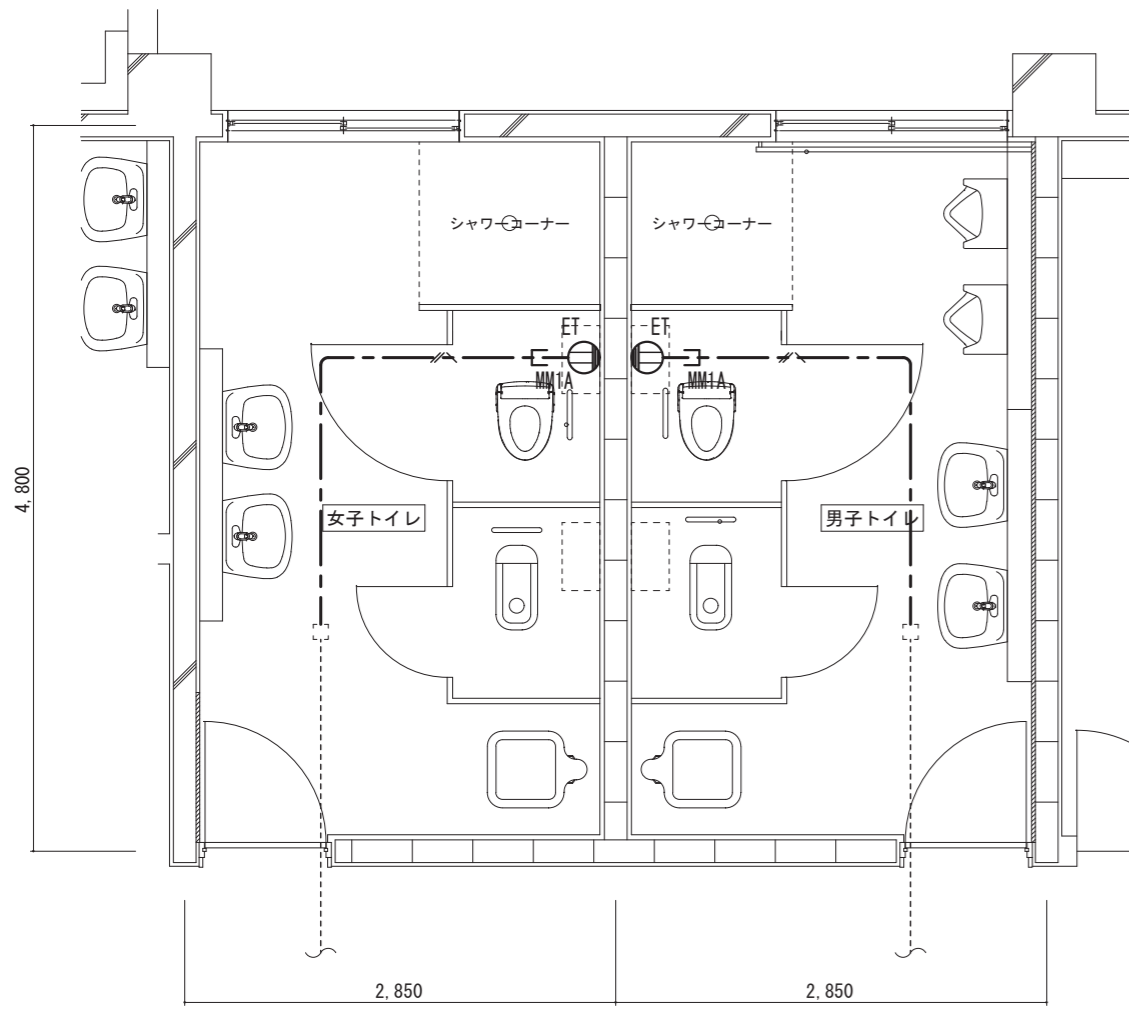
有限会社 福田設備設計

〒689-1115 鳥取市紙子谷10番地4 TEL:0857-51-8240 FAX:0857-53-4669

管理建築士 第376077号 福田洋之
 一級建築士 第27E1-0484KS号 西尾圭介
 担当者

CHECK DRAW 県立白兎養護学校管理教室棟ほかトイレ改修工事(設備)(第一期)
 福田 西尾
 コンセント設備 管理教室棟 1階トイレ 配線図

SCALE No
 1/50 E-09
 DATE



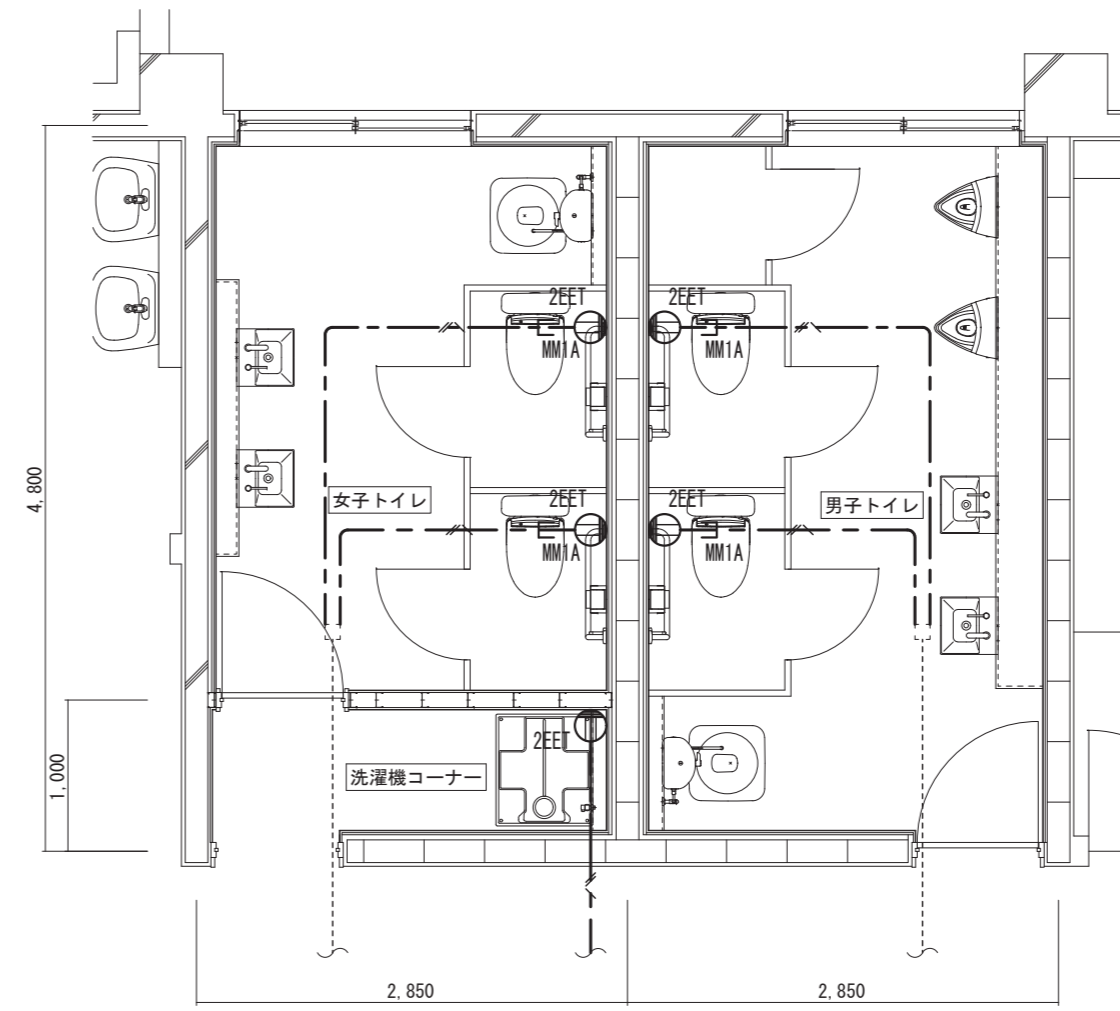
【改修前管理教室棟2階トイレ S=1/50】

凡 例

記 号	名 称	摘 要
ⓍET	埋込コンセント	2P 15A×1 ET 撤去処分
□	位置ボックス	既設のまま

特記なき配管配線は下記による。

--- VVF 2.0-3C	天井内配線	撤去処分
--- MMTA	メタルモール A型	立下げ 撤去処分
---	既設配管配線	既設のまま



【改修後管理教室棟2階トイレ S=1/50】

凡 例

記 号	名 称	摘 要
Ⓧ2EET	埋込コンセント	2P 15A, E×2 ET 金属プレート 新設
□	位置ボックス	既設のまま

特記なき配管配線は下記による。

--- EM-EFF 2.0-3C	天井内配線	新設
--- MMTA	メタルモール A型	立下げ 新設
---	既設配管配線	既設のまま

※ケーブル配線において、新設室内はPF管にて保護する



有限会社 福田設備設計

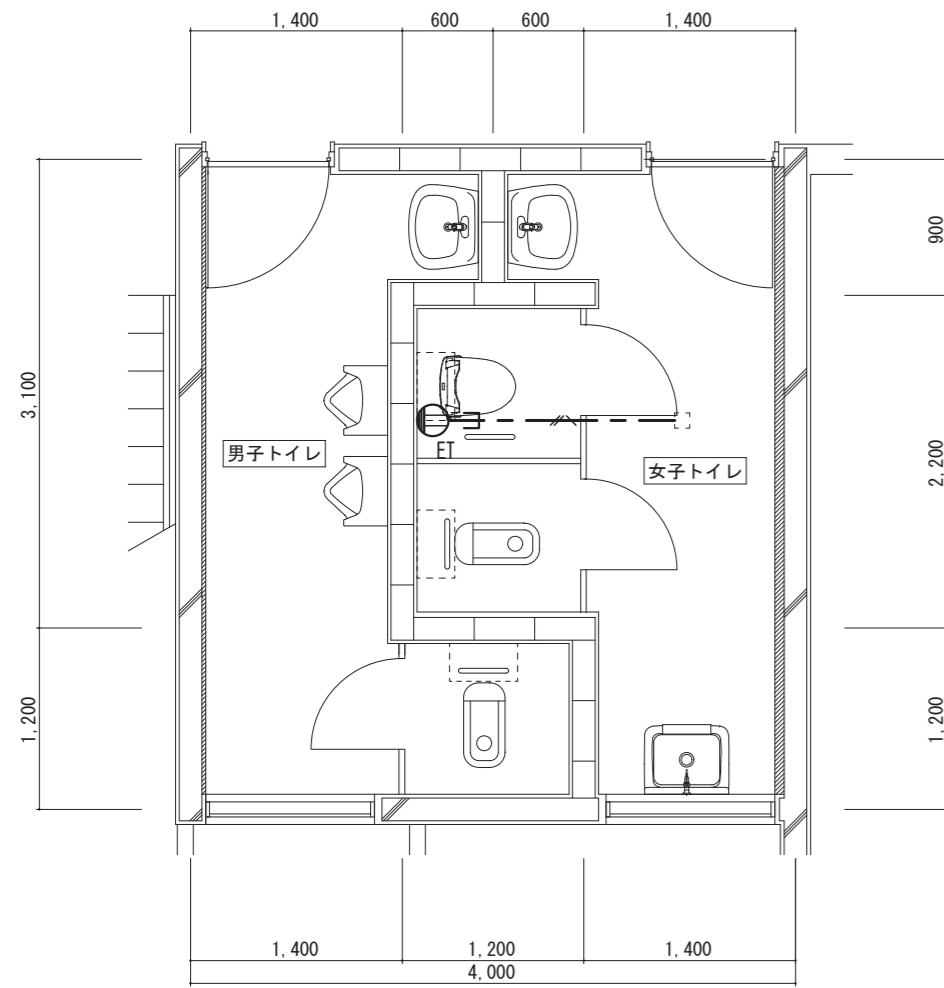
〒689-1115 鳥取市紙子谷1-0番地4 TEL:0857-51-8240 FAX:0857-53-4669

管理建築士 福田洋之
 一級建築士 第376077号
 担当者 西尾圭介
 建築設備士 第27E1-0484KS号

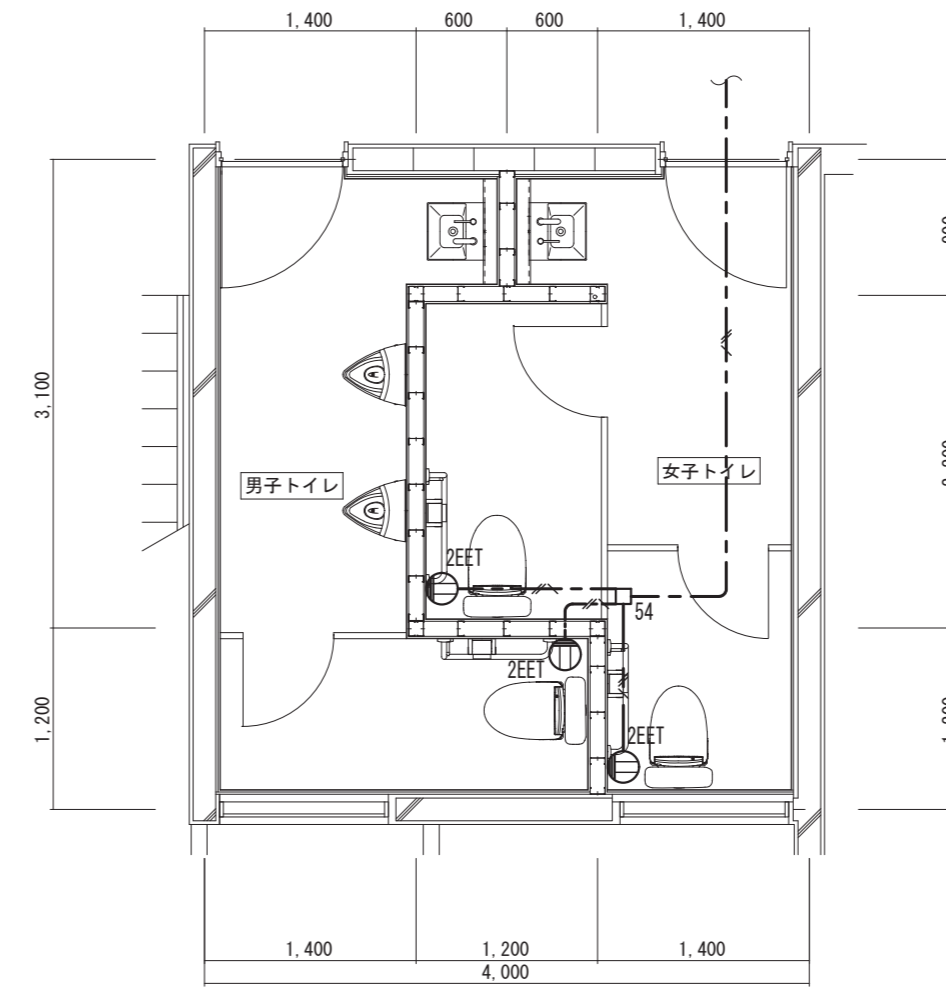
CHECK DRAW
 福田 西尾

県立白兎養護学校管理教室棟ほかトイレ改修工事(設備)(第一期)
 コンセント設備 管理教室棟 2階トイレ 配線図

SCALE No
 1/50 E-10
 DATE



【改修前小学部棟 1階トイレ S=1/50】



【改修後小学部棟 1階トイレ S=1/50】

凡 例

記 号	名 称	摘 要
⊕2EET	埋込コンセント	2P 15A×1 ET 撤去処分

特記なき配管配線は下記による。

---	VVF 2.0-3C	天井内配線	撤去処分
---	既設配管配線		既設のまま

凡 例

記 号	名 称	摘 要
⊕2EET	埋込コンセント	2P 15A, E×2 ET 金属プレート 新設
□54	アウトレットボックス	D54 新設

特記なき配管配線は下記による。

---	EM-EFF 2.0-3C	天井内配線	新設
---	既設配管配線		既設のまま

※ケーブル配線において、新設壁内はPF管にて保護する



有限会社 福田設備設計

〒689-1115 鳥取市紙子谷10番地4 TEL:0857-51-8240 FAX:0857-53-4669

管理建築士 福田洋之
 一級建築士 第376077号
 担 当 者
 建築設備士 第27E1-0484KS号 西尾圭介

CHECK

DRAW



県立白兔養護学校管理教室棟ほかトイレ改修工事（設備）（第一期）

コンセント設備 小学部棟 1階トイレ 配線図

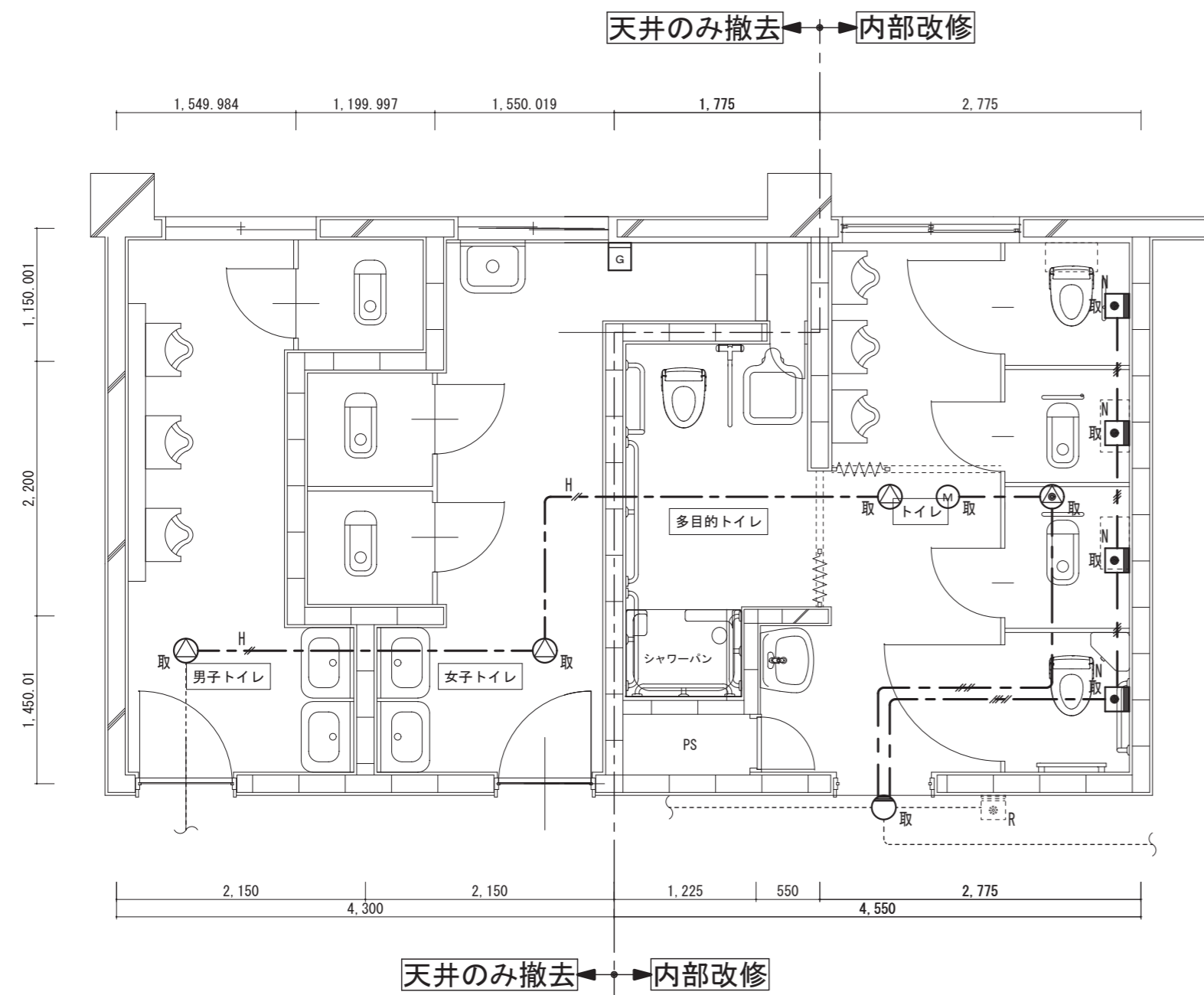
SCALE

1/50

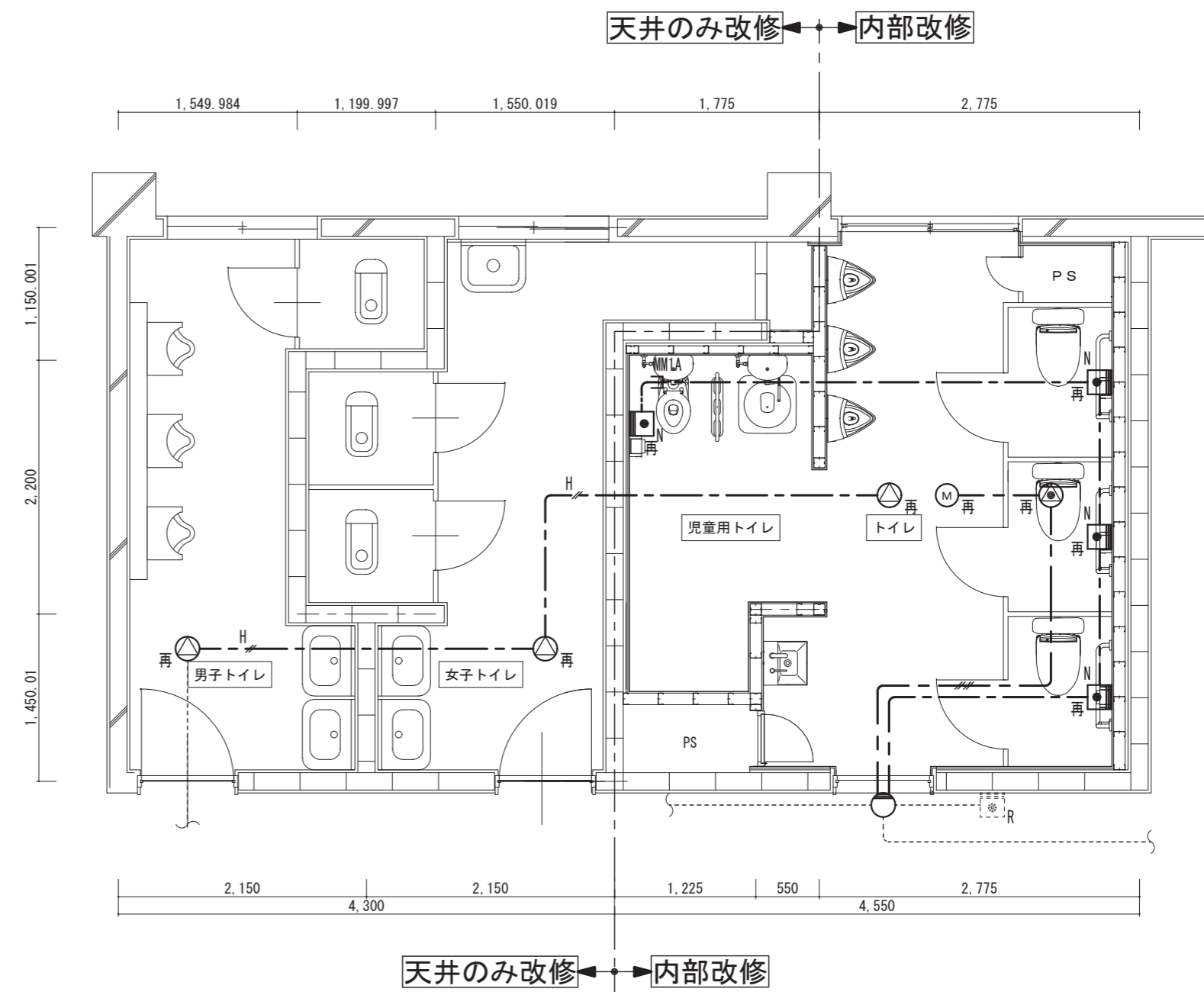
No

E-11

DATE



【改修前管理教室棟 1階トイレ S=1/50】



【改修後管理教室棟 1階トイレ S=1/50】

凡 例			
記 号	名 称	摘 要	
□	端子盤	既設のまま	
□N 取	呼出し押しボタン	埋込型	取外し
□R	復旧ボタン	埋込型	既設のまま
○	表示灯	埋込型	取外し
⊙取	ナースコール子機	天井埋込み型	マイク 取外し
⊙取	ナースコール子機	天井埋込み型	スピーカ 取外し
△取	スピーカ	天井埋込み型	取外し
□g	ガス漏れ検知器	壁付型	撤去処分

特記なき配管配線は下記による。

EM-AE 1.2-2C	天井内配線	撤去処分
EM-AE 1.2-3C	天井内配線	撤去処分
EM-AE 1.2-4C	天井内配線	撤去処分
EM-AE 1.2-5C	天井内配線	撤去処分
EM-HP 1.2-2C	天井内配線	撤去処分
---	既設配管配線	既設のまま

凡 例			
記 号	名 称	摘 要	
□	端子盤	既設のまま	
□N 再	呼出し押しボタン	埋込型	再取付
□R	復旧ボタン	埋込型	既設のまま
○再	表示灯	埋込型	再取付
⊙再	ナースコール子機	天井埋込み型	マイク 再取付
⊙再	ナースコール子機	天井埋込み型	スピーカ 再取付
△再	スピーカ	天井埋込み型	再取付
⊖	感知器	定温式スポット型 1種	防水 新設

特記なき配管配線は下記による。

EM-AE 1.2-2C	天井内配線	新設
EM-AE 1.2-4C	天井内配線	新設
EM-HP 1.2-2C	天井内配線	新設
MMIA	メタルモール A型	立下げ 新設
---	既設配管配線	既設のまま

※ケーブル配線において、新設壁内はPF管にて保護する

鳥取県
令和7年度
J2500782
東部建築住宅
事務所

有限会社 福田設備設計

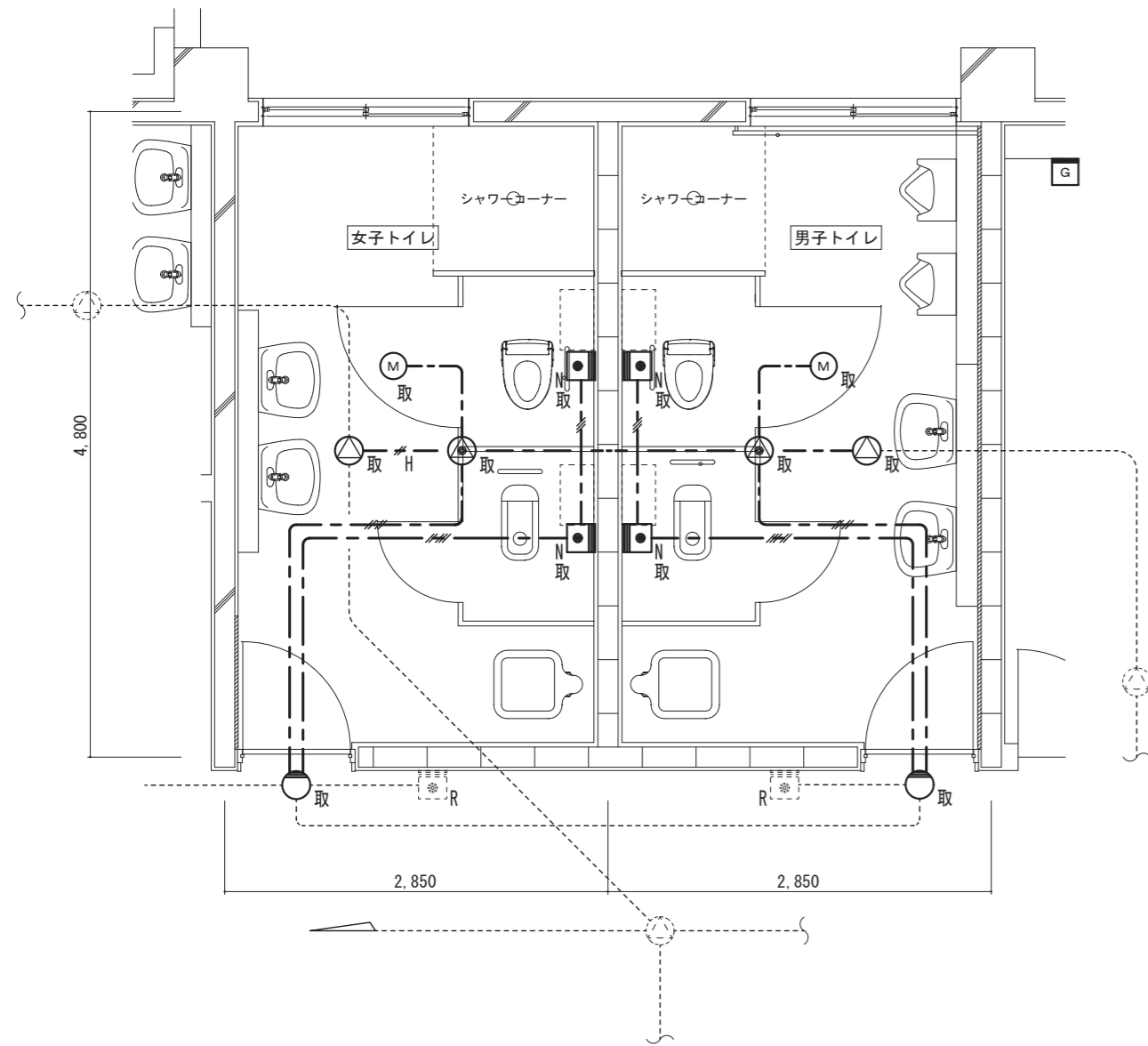
〒689-1115 鳥取市紙子谷10番地4 TEL:0857-51-8240 FAX:0857-53-4669

管理建築士 福田洋之
一級建築士 第376077号
担当者 西尾圭介
建築設備士 第27E1-0484KS号

CHECK DRAW
福田 西尾

県立白兔養護学校管理教室棟ほかトイレ改修工事(設備)(第一期)
拡声・誘導支援・火災報知設備 管理教室棟 1階トイレ 配線図

SCALE No
1/50 E-12
DATE



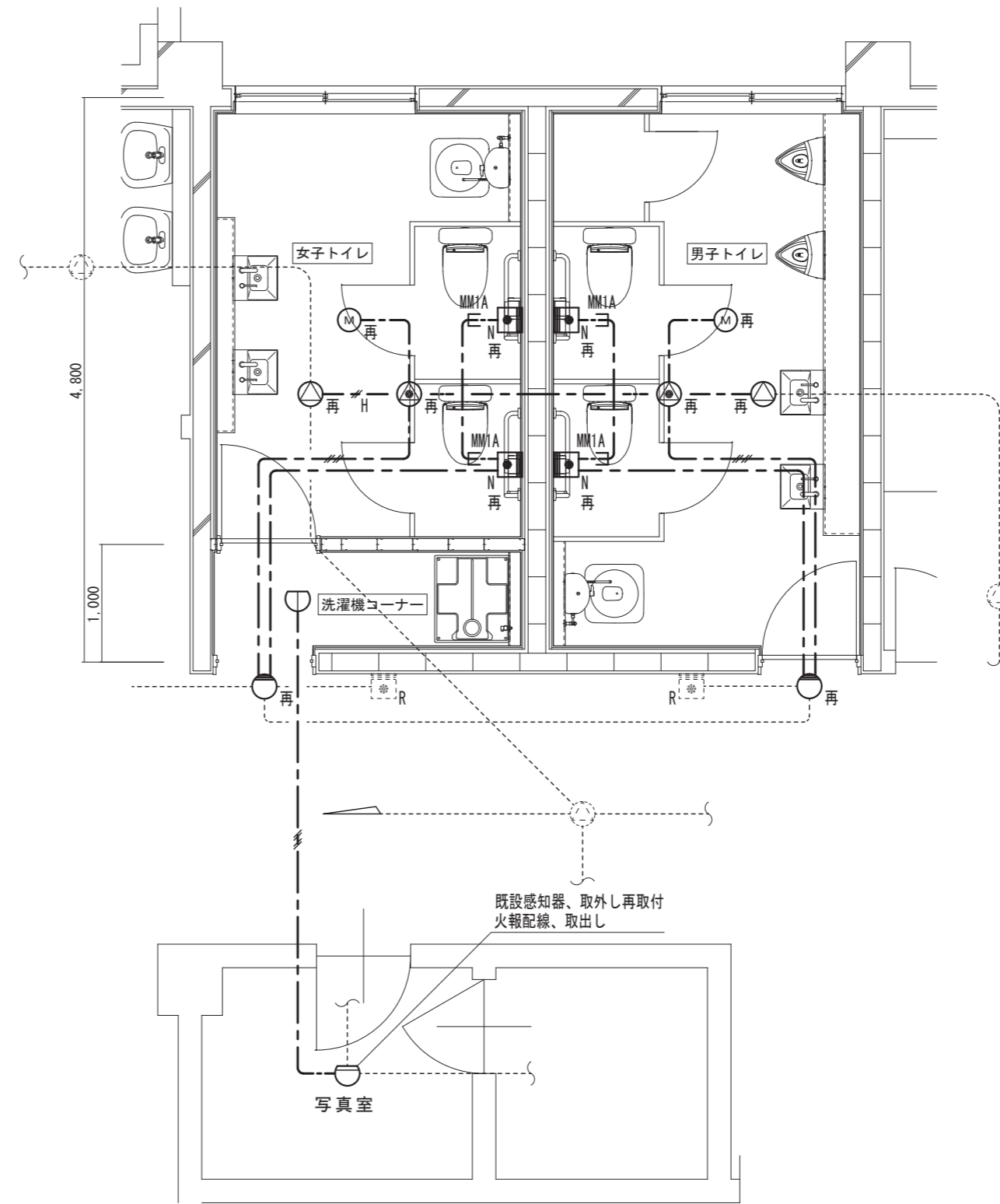
【改修前管理教室棟2階トイレ S=1/50】

凡 例

記号	名称	摘要
□	端子盤	既設のまま
■N取	呼び出し押しボタン	埋込型 取外し
□R	復旧ボタン	埋込型 既設のまま
○取	表示灯	埋込型 取外し
⊙取	ナースコール子機	天井埋込み型 マイク 取外し
⊗取	ナースコール子機	天井埋込み型 スピーカ 取外し
△取	スピーカ	天井埋込み型 取外し
⊠	ガス漏れ検知器	壁付型 撤去処分

特記なき配管配線は下記による。

EM-AE 1.2-2C	天井内配線	撤去処分
EM-AE 1.2-3C	天井内配線	撤去処分
EM-AE 1.2-4C	天井内配線	撤去処分
EM-AE 1.2-5C	天井内配線	撤去処分
EM-HP 1.2-2C	天井内配線	撤去処分
---	既設配管配線	既設のまま



【改修後管理教室棟2階トイレ S=1/50】

凡 例

記号	名称	摘要
□	端子盤	既設のまま
■N再	呼び出し押しボタン	埋込型 再取付
□R	復旧ボタン	埋込型 既設のまま
○再	表示灯	埋込型 再取付
⊙再	ナースコール子機	天井埋込み型 マイク 再取付
⊗再	ナースコール子機	天井埋込み型 スピーカ 再取付
△再	スピーカ	天井埋込み型 再取付
⊠	感知器	定温式スポット型 1種 防水 新設

特記なき配管配線は下記による。

EM-AE 1.2-2C	天井内配線	新設
EM-AE 1.2-4C	天井内配線	新設
EM-HP 1.2-2C	天井内配線	新設
MMIA	メタルモール A型	立下げ 新設
---	既設配管配線	既設のまま

※ケーブル配線において、新設壁内はPF管にて保護する

鳥取県
令和7年度
J2500782
東部建築住宅
事務所

有限会社 福田設備設計

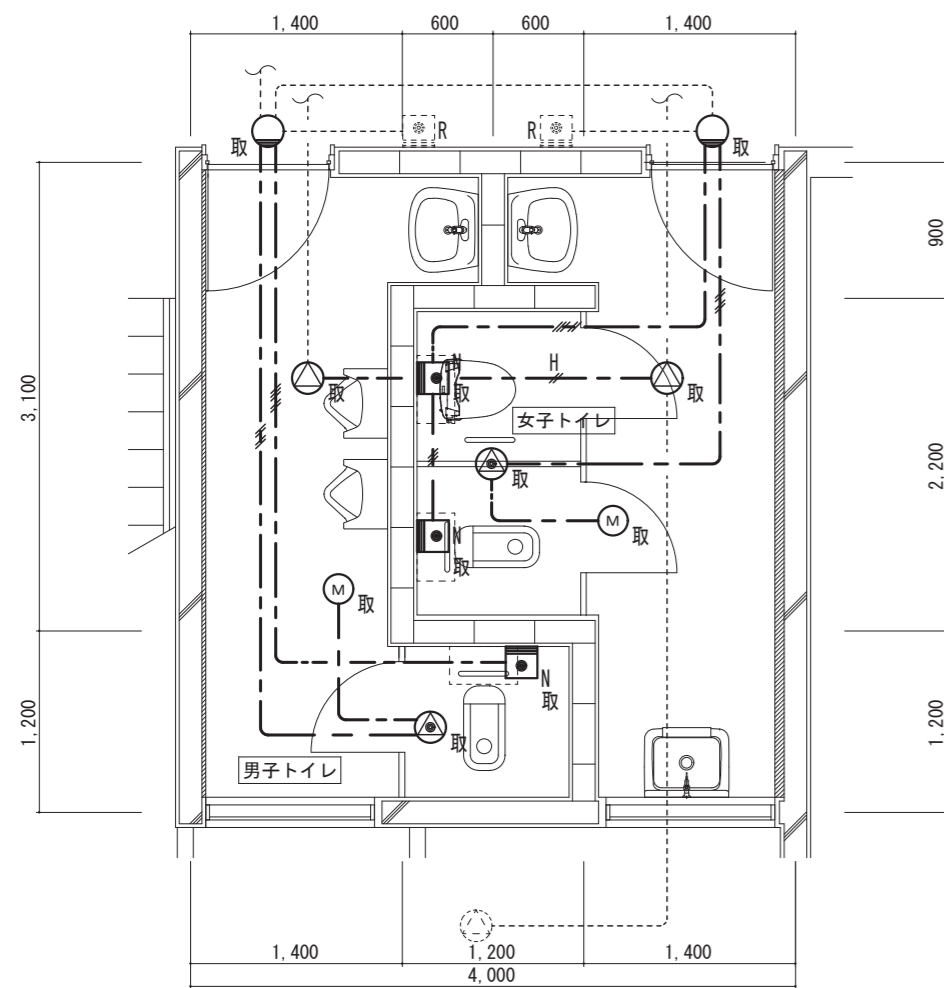
〒689-1115 鳥取市紙子谷10番地4 TEL:0857-51-8240 FAX:0857-53-4669

管理建築士 福田洋之
一級建築士 第376077号
担当者 西尾圭介
建築設備士 第27E1-0484KS号

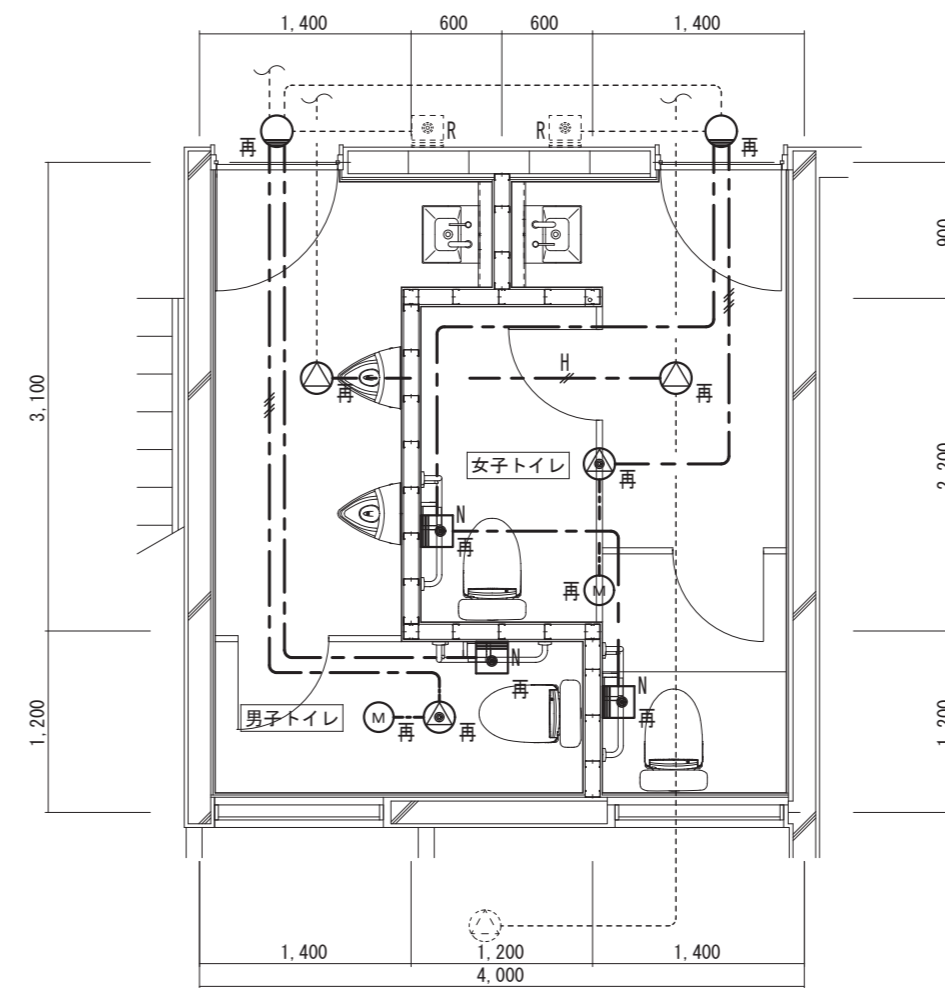
CHECK DRAW
福田 西尾

県立白兔養護学校管理教室棟ほかトイレ改修工事(設備)(第一期)
拡声・誘導支援・火災報知設備 管理教室棟 2階トイレ 配線図

SCALE No
1/50 E-13
DATE



【改修前小学部棟 1階トイレ S=1/50】



【改修後小学部棟 1階トイレ S=1/50】

凡 例

記 号	名 称	摘 要
□	端子盤	既設のまま
□N 取	呼び出しボタン	埋込型 取外し
□R	復旧ボタン	埋込型 既設のまま
○取	表示灯	埋込型 取外し
Ⓜ取	ナースコール子機	天井埋込み型 マイク 取外し
Ⓢ取	ナースコール子機	天井埋込み型 スピーカ 取外し
△取	スピーカ	天井埋込み型 取外し

特記なき配管配線は下記による。

EM-AE 1.2-2C	天井内配線	撤去処分
EM-AE 1.2-3C	天井内配線	撤去処分
EM-AE 1.2-4C	天井内配線	撤去処分
EM-AE 1.2-5C	天井内配線	撤去処分
EM-HP 1.2-2C	天井内配線	撤去処分
既設配管配線		既設のまま

凡 例

記 号	名 称	摘 要
□	端子盤	既設のまま
□N 再	呼び出しボタン	埋込型 再取付
□R	復旧ボタン	埋込型 既設のまま
○再	表示灯	埋込型 再取付
Ⓜ再	ナースコール子機	天井埋込み型 マイク 再取付
Ⓢ再	ナースコール子機	天井埋込み型 スピーカ 再取付
△再	スピーカ	天井埋込み型 再取付

特記なき配管配線は下記による。

EM-AE 1.2-2C	天井内配線	新設
EM-AE 1.2-4C	天井内配線	新設
EM-HP 1.2-2C	天井内配線	新設
既設配管配線		既設のまま

※ケーブル配線において、新設壁内はPF管にて保護する



有限会社 福田設備設計

〒689-1115 鳥取市紙子谷10番地4 TEL:0857-51-8240 FAX:0857-53-4669

管理建築士 福田洋之
 一級建築士 第376077号
 担当者 西尾圭介
 建築設備士 第27E1-0484KS号

CHECK DRAW
 福田 西尾

県立白兎養護学校管理教室棟ほかトイレ改修工事(設備)(第一期)
 拡声・誘導支援・火災報知設備 小学部棟 1階トイレ 配線図

SCALE
 1/50

No E-14
 DATE